

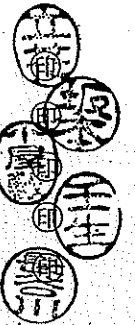
第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年5月29日

会派名 自民クラブ

代表者名 立 花 敬 之 様

氏 名 立 花 敬 之
坂 本 美 洋
小屋敷 孝
壬 生 八十博
長谷川 ひろゆき



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

1 旅行者 立 花 敬 之 議員、坂 本 美 洋 議員、
小屋敷 孝 議員、壬 生 八十博 議員、
長谷川 ひろゆき 議員

2 期 間 令和6年6月19日(水) ～ 令和6年6月20日(木)

3 場 所 東京都千代田区

4 目的及び内容 八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟視察
「連携中枢都市圏の推進について」

5 支出可能額（上限額） 274,300円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅費額計算書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎						
行	6/19	本八戸駅発 13:56	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
き	6/19	東京駅着 17:04	早見表						
帰	6/20	東京駅発 13:20							
	り	6/20						本八戸駅着 16:30	
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃		638.0k	9,790	17,620	本八戸⇄東京（往復割引）	
			急 行 料 金		特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						2	△200	△400	閑散期割引(6/19, 6/20)
			急						
			特別車両 料 金			2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃						
			バス運賃						
			宿泊料			1	13,900	13,900	6/19 東京都内泊
小 計						54,860			
合 計（小計×人数）						274,300	5名		

八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟 視察日程表

・日程:令和6年6月19日(水)～6月20日(木)
 ・場所:東京都千代田区

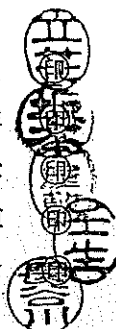
月 日	行 程	宿 泊
6/19 (水)	13:56 発 本八戸 — JR八戸線 — 八戸 — JRはやぶさ28号 — 東京 17:04 着	東京都内
6/20 (木)	9:30 総務省前集合 9:30 ～ 入館手続き 9:45 ～ 10:20 総務省自治行政局市町村課 勉強会「連携中枢都市圏の推進について」 10:30 ～ 10:45 自治行政局官房総括審議官 海老原 諭 氏との意見交換会 13:20 発 東京 — JRはやぶさ25号 — 八戸 — JR八戸線 — 本八戸 16:30 着	

令和6年7月5日

会派名 自民クラブ

代表者名 立 花 敬 之 様

氏 名 立 花 敬 之
坂 本 美 洋
小屋敷 孝
壬 生 八十博
長谷川 ひろゆき



調査視察等報告書

令和6年5月29日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 立 花 敬 之 議員、坂 本 美 洋 議員、
小屋敷 孝 議員、壬 生 八十博 議員、
長谷川 ひろゆき 議員
- 2 期 間 令和6年6月19日(水) ～ 令和6年6月20日(木)
- 3 場 所 東京都千代田区
- 4 行 程 6月19日 本八戸～JR～八戸～JR～東京
6月20日 東京～JR～八戸～JR～本八戸
- 5 支出額 258,060円
- 6 概 要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	8-1
領 収 書 等 貼 付 欄					
えきねっと ご利用票兼領収書 下記の金額を、確かに領収しました。 発行日 2024年06月24日15時21分 発行番号 No.E538261246250030619 東日本旅客鉄道株式会社 登録番号：T9011001029597 宛名 長谷川 皓之 様 金額 ¥21,260(税込10%)クレジットカード利用(カード番号下4桁：XXXXXXXXXX) 但し きっぷのご購入代金として きっぷの明細 予約番号 E53826 購入日 2024年05月31日 乗車日 2024年06月19日 列車名・区間 ○はやぶさ14号グリーン(乗車券込み) 八戸 → 東京 ご利用人数 おとな1名					

旅費の支出額が上限額を超えたため、
上限額54,860円を計上する。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	8-1
領 収 書 等 貼 付 欄					
発行日 2024年06月24日15時21分 発行番号 No.E442441246250030620 えきねっと ご利用票兼領収書 下記の金額を、確かに領収しました。 東日本旅客鉄道株式会社 登録番号：T9011001029597 宛名 長谷川 皓之様 金額 ¥21,260(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁：) 但し きつぷのご購入代金として きつぷの明細 予約番号 E44244 購入日 2024年05月31日 乗車日 2024年06月20日 列車名・区間 ○はやぶさ25号グリーン(乗車券込み) 東京 → 八戸 ご利用人数 おとな1名					

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	8-1
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No. 123114

2024 年 7 月 5 日

長谷川 ひろゆき 様

金 額	¥ 12,600
-----	----------

但し前払代金 (6/19~20分)

10%対象(税込) 12600 0%対象

内消費税 1236 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収
用 入
印 紙

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	

北日本トラベル
登録番号 T1420001005756
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



扱 者 印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	8-2, 8-3
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.123038

2024年 6月21日

小屋敷 孝 様

金額	¥	5	4	5	6	0
----	---	---	---	---	---	---

貼
用
収入
印紙

但し J.R. 宿泊代 ¥12 (6/19~20分)

10%対象(税込) 54560 0%対象

内消費税 4960円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

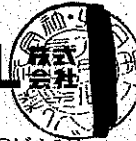


北日本トラベル

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151代



扱者印



領 収 証

No.123034

2024年 6月21日

壬生 八十博 様

金額	¥	5	4	1	6	0
----	---	---	---	---	---	---

貼
用
収入
印紙

但し J.R. 宿泊代 ¥12 (6/19~20分)

10%対象(税込) 54160 0%対象

内消費税 4923円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



北日本トラベル

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151代



扱者印



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	8-4
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No.123037

2024年 6月21日

立花 敬文 様

金 額	¥55,360
-----	---------

但し、JR北海道バス(6月19~20日分)

10%対象(税込) 55,360 0%対象

内 消費税 5,082 円 上記の金額正に領収致しました。

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	

北日本トラベル
登録番号 T1420001005756
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



扱 者 印



旅費の支出額が上限額を超えたため、
上限額54,860円を計上する。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	8-5
領収書等貼付欄					

領 収 証

2024年 5月26日

坂本美洋 様

金28,920円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸802 No.0000003

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご請求明細書

Amount Description

一般財団法人全国自治協会

登録番号 T7010005002819

調査研究費

旅費 整理番号

8-5

全国町村会館

TEL 03-3581-0471

FAX 03-3581-0220

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	人数 Pers	ご利用日 Date
1104	Mr. 坂本 美洋 Ms. 様	1	24.06.19 - 24.06.20(1泊)

日付 Date	摘要 Description	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks
06.19	【会員】ご宿泊代 (ご朝食付)	10,700		
06.20	クレジット[C/O]		CR 10,700	
小計 Sub Total		10,700	10,700	

(内消費税 Con.Tax ¥972)

(標準税率対象 ¥10,700) 標準税率消費税額
(軽減税率対象 ¥0) 軽減税率消費税額

¥972
¥0

ご請求額
Balance Due

ご返金額
Refund

誠に勝手ながらサービス料として、お勘定の10%及び規定の税金を加算させていただきます。

5000000050 共通クレジット

ご署名
Signature

会社名
Firm

発行No. 075460

No. 202406200016

発行日 2024.06.20

05016 CR 1

一般財団法人全国自治協会

(1/1)

一般財団法人全国自治協会
登録番号 T7010005002819

領収書

Receipt

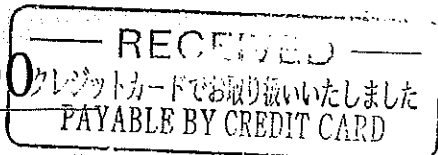
No. 202406200016

2024.06.20

坂本 美洋

様

¥10,700



上記正に領収致しました

但、クレジット分 ¥10,700 を含みます クレジット払い

(内消費税 Con.Tax ¥972)

(標準税率対象 ¥10,700) 標準税率消費税額
(軽減税率対象 ¥0) 軽減税率消費税額

¥972
¥0

全国町村会館

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-35

TEL 03-3581-0471 FAX 03-3581-0220

調査研究費

旅費 整理番号

81~5

ご旅行代金明細書

八戸圏域連携中枢都市圏

形成促進議員連盟

御中

令和6年6月19日

北日本トラベル株式会社

店長 大塚 隆夫

青森県八戸市廿二丁目

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 4名

計 4名

ご旅行期間 令和6年6月19日～6月20日

ご旅行方面 東京 方面

行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金

177,680 円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	3	40,960			122,880	本八戸～東京 (往復)グリーン 立花、長谷川、佐々木
宿泊代	2	13,600			27,200	6/19アパホテル赤坂見附 朝付小人数 長谷川 (両方)
	1	14,400			14,400	立花
	1	13,200			13,200	6/19アパホテル赤坂見附 朝なし 立花
明細金額小計					177,680	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					177,680	消費税10% 16,152円

特記事項

第6号様式（第7条、第8条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項 目	調査研究費			
年 月 日	令和6年6月20日（木）			
場 所	総務省（東京都千代田区霞が関二丁目1番2号）			
相 手 方	総務省大臣官房総括審議官 海老原 諭 氏 総務省自治行政局市町村課長 原 昌史 氏 総務省自治行政局市町村課 課長補佐 浅見 仁 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき 小屋敷孝 壬生八十博 立花敬之 坂本美洋			
目的・内容・結果等	人口減少社会において、地方から都心への人口流出を食い止めると同時に経済を安定させ、持続可能な地域社会をつくることが連携中枢都市圏を構築する目的である。地方公共団体はかつて、市町村合併を繰り返し講じることによって地方行政の整備を進めてきたが、社会の多様性に対応する観点から、自治体行政の在り方自体を見直す必要がでてきた。合併により、1つの自治体として一元化するのではなく、複数の自治体が独立性を保ちながら、特定の分野や事業で協力・連携することで、地域特性やニーズに応じた連携体制を構築することが可能となるのである。2040年問題を見据えた今、連携中枢都市圏構想の推進は非常に重要である。			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
備 考				

研修の概要

【1. 日本の人口の推移・2040年の課題】

- 我が国の人口は、戦後、増加を続けていたが、2008年の1億2808万人をピークに減少局面に入った。
- 2040年には1億1092万人（2008年比▲13.4%減）となり、65歳人口は、2042年に3935万人でピークを迎える。
- 出生率は、第2次ベビーブームをピークに一貫して減少しており、近年は年間100万人を下回っている。
- 合計特殊出生率も、一時は上昇傾向にあったが、平成28年から再び低下基調に転じている。
- 人口構造は、2040年には団塊世代および団塊ジュニア世代が高齢者となっており、人口ピラミッドは、いわゆる棺おけ型になる。
- 2040年までの課題として、老朽化したインフラ・公共施設の大幅な増加、公営企業の料金の上昇、乗り合いバスや鉄道の廃止路線の増加、集落機能の維持が困難になるおそれ等が懸念されている。
- 労働力においては、高齢者と女性、若者の労働参加が進まなければ、労働力不足が顕著となる。また、就職氷河期世代は長期にわたり給与が低い傾向にある。そして、地方においては労働集約型サービス産業が増加する。
- 地方公共団体の専門人材の状況として、小規模市町村においては、専門職員が配置されない、又は配置されたとしても小人数しか配置されない状況がある。

【2. 市町村合併から広域連携へ】

- 市町村は、市制町村制（明治22年）以降、合併や広域連携施策を繰り返し講じることで、人口増加や経済成長、地方分権に伴う行政需要の増大・高度化に対応できる地方行政体制の整備を進めてきた。
- 今後は、人口減少に対応する観点から、自治体行政の在り方を見直す必要がある。
- 2040年頃にかけて生じる人口構造の変化やインフラの老朽化等の変化・課題に的確に対応し、持続可能な形で住民生活を支えるためには、地方公共団体がそれぞれの強みを活かし、資源を融通しあうなど、地域の枠を超えた連携が重要である。
- 他の地方公共団体との連携は、地域の実情に応じ、市町村間の広域連携、都道府県による補完・支援など、多様な手法の中から、最も適したものを選択することが適当である。

【3. 連携中枢都市圏構想の取組】

1. 連携中枢都市及び連携市町村の取組に関する包括的財政措置
 - ①普通交付税措置
 - ②特別交付税措置
 - ③連携市町村への交付税措置
2. 地域活性化事業債の充当
3. 外部人材の活用に対する財政措置
4. 民間主体の取組の支援に対する財政措置
 - ①民間への融資等を行うファンド形成に関する財政措置
 - ②ふるさと融資の融資比率及び融資限度額の引き上げ
5. 個別の施策分野における財政措置
 - ①病院連携等による地域医療の確保に対する財政措置
 - ②へき地における遠隔医療に対する特別交付税措置の拡充
6. 連携中枢都市圏の形成に対応した辺地度点数の算定要素の追加

【4. 広域連携の深化に向けて】

- 連携中枢都市圏におけるPDCAサイクルを確立するには、適切なKPIを設定・管理することが重要である。
- 従来の一般的な計画等では十分着目されてこなかった「地域の課題に気付きを与えるもの」として「地域の未来予測」を作成し、議論を重ね、様々な政策や計画に反映する。
- 「地域の未来予想」では、各市町村において、将来、具体的にどのような資源制約が見込まれるのか、その行政需要や経営資源に関する長期的な変化の見通しを、客観的なデータをもとにして整理し、議論を重ね、ビジョンを共有することが重要。
- 「地域の未来予想」では、人口構造の変化や施設・インフラのほか、これらの影響を大きく受けるものとして、「子育て・教育」「医療・介護」「公共交通」「衛生」「消防・防災」「空間管理」を対象としている。
- 新型コロナウイルス感染症は、これまで十分対応できていなかった課題が顕在化した。DX化もその一例であり、ポストコロナの経済社会に対応する地方制度の整備は急務である。

【所感】

連携中枢都市圏を構築する目的は「人口減少社会かつ、人口の東京一極集中となっている現在、地方からの人口流出を食い止めると同時に経済を安定させ、持続可能な地域社会をつくること」である。八戸市では、平成20年度に定住自立圏の先行実施団体に選定されてからは、八戸圏域における地域公共交通網の形成や、ドクターカー・ドクターヘリによる救急医療体制の充実など、全国の事例となる取組を行ってきた。これらの取組は大変意義のあることであり、事実、我々市民は、その恩恵を大いに受けながら生活している。

しかしながら、他自治体と協力して運営するということは、生半可な努力では実施できない。かかる経費や人員の按分等、自治体同士の意見が対立し得る要因が多いからである。こうした要因を取り除き、円滑な運営をするためにも、中心市の働きは非常に重要である。

八戸圏域連携中枢都市圏について、担当課の浅見課長補佐から「八戸市のように、議会が積極的に後押しをしている自治体は全国的にも珍しい。」とのお言葉を頂いたが、これこそが八戸市の強みであると感じた。連携中枢都市圏構築の必要性をいち早く察し、積極的に活動し続けた結果、現在の八戸圏域連携中枢都市圏を築き上げたのは、当時の八戸市や議員の方々であり、頭の下がる思いである。

今後、八戸圏域に限らず、全国的にも人口減少や経済問題は加速していくと想定される。このような流れに抗い、地域の魅力や経済力を向上させるためにも、連携中枢都市圏の推進は重要である。連携中枢都市圏では、複数の自治体が独立性を保ちながら、特定の分野や事業で協力・連携することで効果を発揮するが、その実践の根底には「重要性を理解し、推進する行政と議員の存在」が必要不可欠である。将来の課題にしっかりと対峙し、最善の策を講じていくためにも、今回の視察で学んだ事を確実に自分自身へ落とし込みたい。そう決意したことをもって、本視察の所感としたい。



調査研究費

旅費 整理番号 9

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年10月15日

会派名 自民クラブ

代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美洋
藤川優里



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 坂本美洋議員、藤川優里議員、
- 2 期間 令和6年11月12日（火）～ 令和6年11月14日（木）
- 3 場所 沖縄県国頭郡本部町、沖縄県名護市
- 4 目的及び内容
 - ・ 沖縄美ら海財団管理運営施設（沖縄美ら海水族館）
沖縄美ら海水族館について（施設見学等）
 - ・ JAMSTEC国際海洋環境情報センター（GODAC）
GODACについて（座学・施設見学等）
- 5 支出可能額（上限額） 208,930円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【坂本議員】

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎				
行	11/12	八 戸 駅 発 6:42	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考
き	11/12	県庁前駅着 14:58	早見表				
帰	11/14	県庁前駅発 6:17					
り	11/14	八 戸 駅 着 14:13					
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	635.0k	9,790	17,620	八戸⇄浜松町（往復）
			急 行 料 金	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
				2	△200	△400	11/12, 11/14 閑散期割引
			急				
			特別車両 料 金	2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			航空運賃	1	44,450	44,450	羽田空港⇄那覇空港 （往復）
			東京モノレール	2	520	1,040	浜松町⇄羽田空港
			ゆいレール	2	270	540	那覇空港駅⇄県庁前駅
			貸切バス ※	1	12,650	12,650	宿泊ホテル⇄視察先
			宿泊料	2	12,500	25,000	11/12, 13 那覇市内泊
			小 計			124,640	
			合 計（小計×人数）			124,640	1名

※ 貸切バス代・総額を本視察に参加した人数で案分して計上。

$$151,800 \text{ 円（総額）} \div 12 \text{ 名（参加人数）} = 12,650 \text{ 円}$$

我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 視察行程 【坂本議員】

・日程：令和6年11月12日（火）～14日（木）

・場所：沖縄県名護市

月 日	行 程	宿泊地
11月12日 (火)	6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 東京 → (京浜東北・根岸線) → 浜松町 → (東京モノレール) 9:39着/9:50発 10:06着/11:30発 羽田空港 → (JAL987) → 那覇空港 → (ゆいレール) → (ゆいレール) → 県庁前 → 14:58着/15:05発 15:10着 ホテル	ホテルロコアナハ [那覇市松尾 1-1-2] 098-868-6578
11月13日 (水)	8:00発 ホテル → (貸切バス) → 9:55着/12:40発 沖縄美ら海財団管理運営施設 (視察・昼食) → (貸切バス) 13:25着/14:00発 名護市役所 → (貸切バス) → 14:25着/16:30発 GODAC → (貸切バス) → 18:30着 ホテル (表敬) 【視察概要】 10:00～12:00 沖縄美ら海財団管理運営施設 視察 (バックヤード視察等) 13:30～14:00 名護市議会 表敬 14:30～16:30 国際海洋環境情報センター (GODAC) 視察	
11月14日 (木)	6:17発 県庁前 → (ゆいレール) → 6:30着/7:35発 那覇空港 → (JAL900) → 9:45着/10:30発 羽田空港 → (東京モノレール) → 10:48着/10:58発 浜松町 → 11:02着/11:20発 東京駅 → (はやぶさ21号) → 14:13着 八戸 (京浜東北・根岸線)	

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【藤川議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎					
行	11/12	本八戸駅前発	7:45	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	11/12	県庁前駅着	17:33	早見表					
帰	11/14	県庁前駅発	9:56						
り	11/14	本八戸駅前着	17:15						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃					
				急 行 料 金	特				
					急				
				特別車両 料 金					
				航空運賃		1	43,100	43,100	三沢空港⇄羽田空港⇄ 那覇空港（往復）
				連絡バス		2	1,500	3,000	本八戸駅前⇄三沢空港
				ゆいレール		2	270	540	那覇空港駅⇄県庁前駅
				貸切バス ※		1	12,650	12,650	宿泊ホテル⇄視察先
				宿泊料	2	12,500	25,000	11/12, 13 那覇市内泊	
小 計							84,290		
合 計（小計×人数）							84,290	1 名	

※ 貸切バス代・総額を本視察に参加した人数で案分して計上。

151,800 円（総額）÷12 名（参加人数）＝12,650 円

我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 視察行程 【藤川議員】

・日程：令和6年11月12日（火）～14日（木）

・場所：沖縄県名護市

月日	行程	宿泊地
11月12日 (火)	7:45発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 8:40着/9:40発 三沢空港 → (JAL152) → 11:05着/14:15発 羽田空港 → 17:00着/17:20発 (JAL917) → 那覇空港 → 17:33着 県庁前 → (移動) → ホテル	ホテルロコアナハ 那覇市松尾 1-1-2 098-868-6578
11月13日 (水)	8:00発 ホテル → (貸切バス) → 9:55着/12:40発 沖縄美ら海財団管理運営施設 (視察・昼食) (※バックヤード視察等) 13:25着/14:00発 → 名護市役所 → (貸切バス) → 14:25着/16:30発 GODAC → (貸切バス) → 18:30着 ホテル 【視察概要】 10:00～12:00 沖縄美ら海財団管理運営施設 視察 (バックヤード視察等) 13:30～14:00 名護市議会 表敬 14:30～16:30 国際海洋環境情報センター (GODAC) 視察	
11月14日 (木)	9:56発 県庁前 → (ゆいれーる) → 10:09着/11:20発 那覇空港 → (JAL904) → 13:35着/14:55発 羽田空港 → (JAL157) → 16:10着/16:25発 三沢空港 → (連絡バス) → 17:15着 本八戸駅前	

見積書

坂本 美洋 様

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 正人
青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当 [REDACTED]

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和6年11月12日～11月14日
ご旅行方面 沖縄県 名護市 方面
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 79,900 円

明細内訳

項目	人員	ご利用 単価		ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	1	44,450			44,450	11/12～14 羽田～那覇(往復)
宿泊代	1	22,800	2泊		22,800	ホテルロコアナハ 朝食付DXシングル
バス代	1	12,650			12,650	11/13 視察時移動利用
明細金額小計					79,900	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					79,900	消費税10% 7,264円

特記事項

見積書

藤川 優里 様

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 正人
青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当 [REDACTED]

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りお見積させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和6年11月12日～11月14日
ご旅行方面 沖縄県 名護市 方面
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金

80,750 円

明細内訳

項目	人員	ご利用 単価		ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	1	43,100			43,100	11/12～14 三沢～羽田～那覇(往復)
宿泊代	1	25,000	2泊		25,000	ホテルロコアナハ 朝食付TW
バス代	1	12,650			12,650	11/13 視察時移動利用
明細金額小計					80,750	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					80,750	消費税10% 7,341円

特記事項

令和6年12月12日

会派名 自民クラブ

代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美洋
藤川優里



調査視察等報告書

令和6年10月15日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 1 旅行者 | 坂本美洋議員、藤川優里議員 |
| 2 期間 | 令和6年11月12日(火)～令和6年11月14日(木) |
| 3 場所 | 沖縄県国頭郡本部町、沖縄県名護市 |
| 4 行程 | 別紙のとおり |
| 5 支出額 | 190,790円 |
| 6 概要 | 別紙のとおり |

我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 視察行程 【坂本議員】

・日程：令和6年11月12日（火）～14日（木）

・場所：沖縄県名護市

月日	行程	宿泊地
11月12日 (火)	6:42発 八戸 → (はやぶさ4号) → 東京 → (京浜東北・根岸線) → 浜松町 → (東京モノレール) 9:39着/9:50発 10:06着/11:30発 羽田空港 → (JAL987) → 那覇空港 → (ゆいレール) → 県庁前 → ホテル 14:58着/15:05発 15:10着	ホテルロコアナハ 那覇市松尾1-1-2 098-868-6578
11月13日 (水)	8:00発 ホテル → (貸切バス) → 沖縄美ら海財団管理運営施設(視察・昼食) 9:55着/12:40発 (※バックヤード視察等) 13:25着/14:00発 名護市役所 → (貸切バス) → GODAC → (貸切バス) 14:25着/16:30発 18:30着 (表敬) ホテル 【視察概要】 10:00～12:00 沖縄美ら海財団管理運営施設 視察（バックヤード視察等） 13:30～14:00 名護市議会 表敬 14:30～16:30 国際海洋環境情報センター（GODAC）視察	
11月14日 (木)	6:17発 県庁前 → (ゆいレール) → 那覇空港 → (JAL900) → 羽田空港 → (東京モノレール) 9:45着/10:30発 10:48着/10:58発 → 浜松町 → 11:02着/11:20発 東京駅 → (はやぶさ21号) → 八戸 14:13着	

我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 視察行程 【藤川議員】

・日程：令和6年11月12日（火）～14日（木）

・場所：沖縄県名護市

月 日	行 程	宿泊地
11月12日 (火)	7:45発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 三沢空港 → (JAL152) → 羽田空港 → 11:05着/14:15発 → 17:00着/17:20発 (JAL917) → 那覇空港 → (ゆいレール) → 県庁前 → (移動) → ホテル	
11月13日 (水)	8:00発 ホテル → (貸切バス) → 沖縄美ら海財団管理運営施設 (視察・昼食) → (貸切バス) 9:55着/12:40発 (※バックヤード視察等) 13:25着/14:00発 → 名護市役所 → (貸切バス) → (貸切バス) → 18:30着 → 名護市役所 (表敬) 14:25着/16:30発 → GODAC → (貸切バス) → ホテル 【視察概要】 10:00～12:00 沖縄美ら海財団管理運営施設 視察 (バックヤード視察等) 13:30～14:00 名護市議会 表敬 14:30～16:30 国際海洋環境情報センター (GODAC) 視察	ホテルココアナハ 〔那覇市松尾 1-1-2〕 098-868-6578
11月14日 (木)	9:56発 県庁前 → (ゆいレール) → 那覇空港 → (JAL904) → 羽田空港 → 13:35着/14:55発 → (JAL157) → 三沢空港 → 16:10着/16:25発 → (連絡バス) → 17:15着 本八戸駅前	

領収書等貼付用紙

項目	調査研究費	費目	旅費	整理番号	9-1.9-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.123600

2024年12月12日

藤川 優里 様

金 額	¥ 80750
-----	---------

但し 航空機・船舶・バス代として

10%対象(税込) 80750 0%対象

内 消費税 7241 円 上記の金額正に領収致しました。



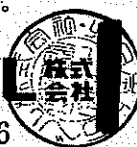
現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151(代)



扱者印



領 収 証

No.123651

2024年12月12日

坂本 美洋 様

金 額	¥ 79900
-----	---------

但し 航空機・船舶・バス代として

10%対象(税込) 79900 0%対象

内 消費税 7264 円 上記の金額正に領収致しました。



現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151(代)



扱者印



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

1/12~14 2/16

領 収 証

坂本 美洋 様

2024年11月 3日

金30,140円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000011



請 求 書

藤川 優里 様

令和6年11月12日

北日本トラベル株式会社

店長 大塚 健

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りご請求させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和6年11月12日～11月14日
ご旅行方面 沖縄県 名護市 方面
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 80,750 円

明細内訳

項目	人員	ご利用 単価		ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	1	43,100			43,100	11/12～14 三沢～羽田～那覇(往復)
宿泊代	1	25,000	2泊		25,000	ホテルロコアナハ 朝食付TW
バス代	1	12,650			12,650	11/13 視察時移動利用
明細金額小計					80,750	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					80,750	消費税10% 7,341円

特記事項

請 求 書

坂本 美洋 様

令和6年11月10日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保

青森県八戸市廿二日町4-1

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通りご請求させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名

ご旅行期間 令和6年11月12日～11月14日

ご旅行方面 沖縄県 名護市 方面

行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金

79,900 円

明細内訳

項目	人員	ご利用 単価		ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
航空機代	1	44,450			44,450	11/12～14 羽田～那覇(往復)
宿泊代	1	22,800	2泊		22,800	ホテルロコアナハ 朝食付DXシングル
バス代	1	12,650			12,650	11/13 視察時移動利用
明細金額小計					79,900	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					79,900	消費税10% 7,264円

特記事項

視 察 調 査 報 告 書

日 時

令和6年11月12日(火)～14日(木)

視 察 調 査 地 等

1 沖縄美ら島財団(沖縄美ら海水族館)

住所 : 国頭郡本部町石川 424 番地

TEL : 0980-48-3748

2 国際海洋環境情報センター

住所 : 沖縄県名護市字豊原 224-3

TEL : 0980-50-0111

参 加 議 員

坂本美洋、藤川優里

視察調査概要

◎ 視察目的

国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）は、同センターの膨大な研究・観測データの成果情報を発信することなどを目的として、沖縄県名護市に国立海洋環境情報センター（GODAC）を設置しているが、同センターでは、沖縄県にある一般財団法人美ら島財団と「海洋科学における連携・協力に係る協定」を締結し、同財団が運営する美ら海水族館において、海洋に関する学術研究及び科学技術の振興、海洋教育の発展に向けた取組を行っている。

当市においては、JAMSTEC と連携し、海洋 STEAM 教育の教材の開発及び活用や八戸市水産科学館マリメントにおける「ちきゅう」情報館及び「ちきゅう」たんけんクラブに取り組んでいることから、同センターにおける実施事業、同協定に基づき同センターと美ら海水族館が連携して取り組む事例などを学ぶことで、当市での JAMSTEC と連携した取組のより一層の充実につなげるとともに、海洋教育の発展などに向けた更なる推進に向けた取組検討の参考とするため視察を行うものである。

◎ 視察概要

1 沖縄美ら島財団（沖縄美ら海水族館）

○ 視察対応者

国立研究開発法人海洋研究開発機構 監事 菊池 聡

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 国立海洋環境情報センター（GODAC）
センター長 園田 朗

○ 視察内容

海洋科学における連携・協力に係る協定に基づき GODAC と美ら海水族館での連携した取組内容について、館内の展示内容を案内いただきながら、説明を受けるとともに、随時、議員から対応者 2 名に対して質疑を行った。

(1) GODAC と一般財団法人美ら島財団との協定概要について

- ・協定名称：海洋科学における連携・協力に係る協定
- ・締結日：令和元年 10 月 17 日（令和 4 年に更新）
- ・締結目的：海洋に関する学術研究及び海洋技術の振興、海洋教育の発展に寄与すること
- ・連携事項：学術研究に資すること、海洋生物等の調査データ等の共有、普及啓発・広報活動両者が共同で実施する事業
- ・主な取組等：
 - ①両者が持つ海洋情報、生物に関する知的資源の共有、情報の発信による二次研究への貢献
 - ②沖縄の海洋生物の生態、生態系、海洋研究の保全などの学術研究成果の創出
 - ③企画展の開催、海洋・環境に関する理解増進プログラムの共同開発など

(2)GODAC と美ら海水族館との連携概要

GODAC では、当該協定を活用し、同水族館と連携して企画展の実施などにより、以下の内容に取り組み、締結目的である海洋教育の発展等の推進を図っている。

- ・ しんかい 6500 の模型展示
- ・ 深海生物映像の貸出
- ・ ノベリティグッズやポスターの共同制作
- ・ スタンプラリーの実施
- ・ 深海生物とのふれあい体験
- ・ 深海の知識を深める講演や実験
- ・ 小型の水中カメラロボットの操作体験
- ・ 同水族館内の深海エリアに関する標本展示 など

(3)美ら海水族館以外の一般財団法人美ら島財団との協定に係る取組

協定に基づく取組みは、同水族館を活用した取組以外にも、以下の取組を展開している。

①ALL やんばる学びのまちプロジェクトにおける連携協力対応

地域貢献体制の構築、人材育成への寄与、情報発信機能の強化を目的とし、名護市教育委員会ほか GODAC や美ら島財団を含む 11 団体が参画。出前事業の対応や将来の科学技術人材の発掘などに取り組むプロジェクトであり、当該プロジェクトにおける人材育成における事業などにおいて、連携を図っている。

②市内小学校理科クラブへの授業提供（2016 年より開始）

ALL やんばるプロジェクトの参画機関として連携を図りながら、それぞれの得意分野のプログラムを授業として提供。

③沖縄県科学人材育成事業への連携協力対応

高校生向け宿泊型講座「サイエンスティックカレッジ 2024」において、学習プログラムを共同で開発及び講座実施。

2 国際海洋環境情報センター

○ 視察対応者

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 国立海洋環境情報センター（GODAC）
センター長 園田 朗

○ 視察内容

(1) 気候変動と海洋研究

気候変動が漁業や海洋生態系に与える影響についての議論が行われ、データを活用した予測や対策が求められている。特に、海洋環境のデータを活用した漁業資源の管理や養殖業の効率化が重要視されている。

・ 気候変動の影響

アジアの気候変動によるマラリアの流行予測が可能になっている。南アフリカなどの国際的な影響が大きい。

・ 海洋環境データの活用

海洋環境のデータを活用して漁業資源の管理が行われている。養殖業における餌やりのタイミングを画像解析で最適化する取り組みが進められている。

(2) 沖縄の産業振興と IT 産業

沖縄の産業振興策として、IT 産業の集積が進められており、名護市を中心に様々な企業が誘致されている。特に、データベースの利用やシステム開発が重要な役割を果たしている。

・ IT 産業の集積

名護市を中心に IT 産業の集積が進められている。データベースの利用やシステム開発が進行中。

・ 沖縄北部の特別振興対策

沖縄北部における特別振興対策事業が進行中。名護市が中心となり、IT 産業の集積が進められている。

(3) データベースと情報発信

海洋生物や生物多様性のデータベース化が進められており、国際的なデータ交換が行われている。特に、ゴミ問題に関するデータベースが注目されている。

・ 海洋生物データベース

海洋生物のデータベースが国内唯一のものとして運用されている。政策決定の科学的裏付けとしてデータが活用されている。

・ ゴミ問題データベース

ゴミ問題に関するデータベースが構築され、国際的に注目されている。プラスチック問題に関連するデータが抽出され、別のデータベースとして運用されている。

(4) 地域との連携と教育

地域の教育機関や企業と連携し、教育プログラムや研究活動が進められている。特に、自由研究や修学旅行プログラムの開発が行われている。

・ 教育プログラムの開発

名護市の教育委員会や沖縄高専と連携して教育プログラムが開発されている。自由研究や修学旅行プログラムの開発が進行中。

・ 地域との連携

沖縄の大学や高専と連携し、地域との交流授業が行われている。観光振興の一環として、地域と連携したプログラムが開発されている。

(5) 教育とスマートシティ

教育とスマートシティに関する取り組みが議論され、特にスマートシティ構想における教育ワークと観光ワークの参加が強調された。

・ 教育ワークと観光ワークの参加

スマートシティ構想に関連して、教育ワークと観光ワークに参加している。毎年1月か2月にスマートシティイベントを名護市が主催し、そこで活動を紹介する。

- ・学校教育の課題

進行：学校の先生の働き方にストレスがあり、新しいことを受け入れるのに抵抗がある。

問題とリスク：学校の先生が新しい教育方法を受け入れるのに抵抗がある。

次のステップ：教科の中に新しい教育方法を取り入れる。

(6) 海洋部門における IT 技術者の育成

海洋部門で活躍する IT 技術者の育成に関する課題が議論され、特に人材不足が問題視された。

- ・海洋学教育の課題

海洋学は学際的な学問であり、物理、化学、生物学が必要。海洋学に特化した教育が不足している。

- ・IT 技術者の不足

IT 系の技術者が不足しており、民間企業の給与が高いため応募者が少ない。
IT 技術者の不足が深刻。

(7) データ連携と生物多様性

データ連携と生物多様性に関する取り組みが議論され、特にデータの交換と活用が強調された。

- ・生物多様性データの交換

生物多様性データを扱うオービスの日本代表を担当。

- ・データ連携基盤ツールの開発

データ提供、連携基盤ツールであるダックスを開発中。

(8) 教育と地域振興

教育の現場での新しい取り組みと地域振興の連携について議論された。特に、名古屋市のスマートシティコンソーシアルや地域経済部の役割が強調された。

- ・小学校との協力

進行：近隣の小学校と協力し、学校のスペースを活用して定期的に検診を行う取り組みが進行中。

問題とリスク：短時間の単発の取り組みでは効果が持続しにくい。

次のステップ：学校のスペースを活用し、定期的に検診を行い、疑問に答える Q&A コーナーを設ける。

- ・名古屋のスマートシティコンソーシアル

名古屋市のスマートシティコンソーシアルにおいて、教育ワーキングと観光ワーキングが進行中。スマートシティ関連の IT 研究を進める。(2025 年 04~)

- ・地域経済部の役割

地域経済部が経済の環境や都市についての取り組みを進めている。

(9) 海洋学と IT 技術者の育成

海洋学の教育と IT 技術者の育成に関する課題と取り組みが議論された。

特に、海洋学の学際的な教育の必要性和 IT 技術者の確保が強調された。

- ・海洋学の教育

進行：海洋学は物理、生物学、地理学といった既存の教科の中で教えられている。

問題とリスク：海洋学に特化した教育が少なく、学生の関心が低下している。

次のステップ：海洋学を既存の教科に組み込み、学生の関心を引きつける。

- ・IT 技術者の育成

進行：IT 技術者を確保するための取り組みが進行中。

問題とリスク：IT 技術者の応募が少なく、必要な人材を確保するのが難しい。

次のステップ：IT 技術者を育成し、海洋研究に活用する。

～ 所感 ～

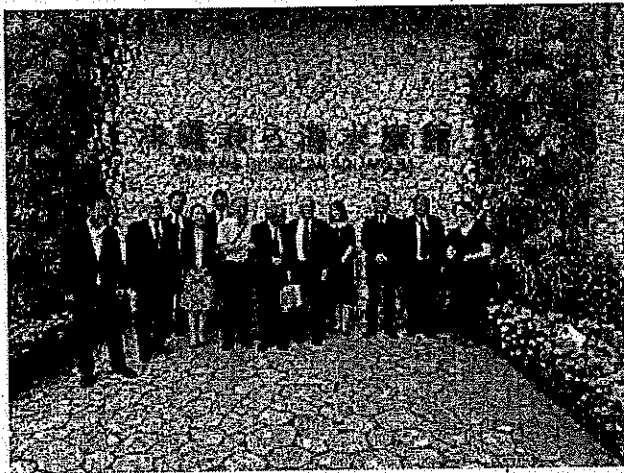
今後、気候変動と海洋環境に関するデータ活用により具体性を持たせることや計画策定が求められており、特に漁業資源の管理や養殖業の効率化に向けた具体的なアクションプランを実行して頂ければ、多くの地方自治体にとって心強い指針となると思われます。

JAMSTEC としての課題解決のためにも沖縄の IT 産業振興において、具体的な企業誘致やプロジェクトの進捗を明確にし、関係者間での情報共有を強化すること、同時に海洋研究分野における IT 技術者の不足に対して、民間企業との連携やインセンティブの提供を検討し、必要な人材を確保するための具体的なアクションプランを策定する必要があります。

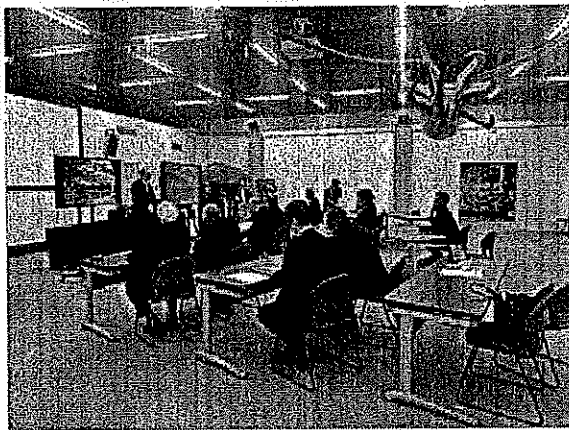
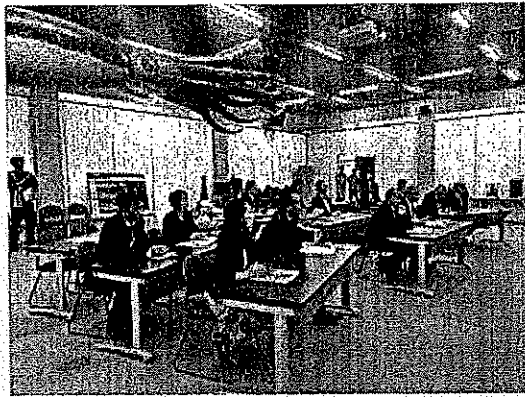
当市でも行っている海洋 STEAM 教育を子どもたちや親世代に浸透させていくことと同様に、その子供たちが活躍する時代に向けた海洋研究分野の多角的な人材の充実が喫緊の課題であることがわかりました。

【視察の様子】

1 美ら海水族館視察



2 国際海洋環境情報センター (GODAC) 視察



調査研究費

旅費 整理番号

10

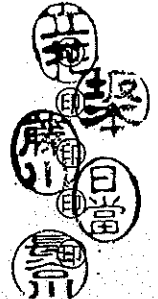
第3号様式(第6条、第8条関係)

令和6年10月21日

会派名 自民クラブ

代表者名 立花敬之様

氏名 立花敬之
坂本美洋
藤川優里
日當正男
長谷川ひろゆき



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

記

- 1 旅行者 立花敬之議員、坂本美洋議員、
藤川優里議員、日當正男議員、
長谷川ひろゆき議員
- 2 期間 ○立花議員、日當議員
令和7年1月27日(月)～令和7年1月30日(木)
○坂本議員
令和7年1月27日(月)～令和7年1月31日(金)
○藤川議員
令和7年1月27日(月)～令和7年1月28日(火)
○長谷川議員
令和7年1月28日(火)～令和7年1月30日(木)
- 3 場所 ○立花議員、日當議員
神奈川県横須賀市、高知県須崎市、高知県南国市
○坂本議員
神奈川県横須賀市、高知県須崎市、高知県南国市、
高知県高知市
○藤川議員
神奈川県横須賀市

○長谷川議員

高知県須崎市、高知県南国市

4 目的及び内容 ○立花議員、日當議員

- ・神奈川県横須賀市

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」

海洋フォーラム等

- ・高知県須崎市

住友大阪セメント株式会社高知工場について

- ・高知県南国市

高知大学海洋コア総合研究センターについて

○坂本議員

- ・神奈川県横須賀市

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」

海洋フォーラム等

- ・高知県須崎市

住友大阪セメント株式会社高知工場について

- ・高知県南国市

高知大学海洋コア総合研究センターについて

南国市地域公共交通計画について（南国市役所）

- ・高知県高知市

議会改革の取組について（高知市役所）

○藤川議員

- ・神奈川県横須賀市

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」

海洋フォーラム等

○長谷川議員

- ・高知県須崎市

住友大阪セメント株式会社高知工場について

- ・高知県南国市

高知大学海洋コア総合研究センターについて

5 支出可能額（上限額） 592,222円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

旅 費 額 計 算 書

【立花議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎				
行	1/27	八戸駅発 7:17	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	1/27	横須賀中央駅着 12:43	早見表					
帰	1/30	はりまや橋発 9:35						
り	1/30	八戸駅着 17:04						
経路・滞在地 別紙のとおり					694.3k	10,340	18,600	八戸⇄横須賀（往復割引）
				鉄道運賃				
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540
						2	△200	△400
					急			
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200
				京浜急行電鉄		1	670	670
				京浜急行バス		1	200	200
				航 空 機		1	43,640	43,640
				モノレール		1	520	520
				連絡バス		2	900	1,800
				貸切バス ※		1	19,800	19,800
				宿泊料		3	12,500	37,500
				小 計			146,070	
				合 計（小計×人数）			146,070	1名

※ 貸切バス代・総額を本視察に参加した人数で案分して計上。

99,000 円（総額）÷5 名（参加人数）＝19,800 円

・日程：令和7年1月27日（月）～30日（木）

・場所：神奈川県横須賀市・高知県須崎市・高知県南国市

月 日	行 程	宿泊地
1月27日 （月）	7:17発 八戸 → （はやぶさ8号） → 東京 → （JR横須賀線） → 横須賀 12:25着/12:35発 12:50着/13:00～19:00 セントラルホテル （海洋フォーラム等） 12:43着/12:45発 横須賀中央 → （移動） →	横須賀市内
1月28日 （火）	8:10～11:00（途中退出） 横須賀市内 → （移動） → 横須賀中央 → （京浜急行電鉄・快特） → 東京浦田 → （京浜急行電鉄空港線 特急） 11:35発 12:15着/12:25発 15:05着/15:30発 高知竜馬空港 → （連絡バス → はりまや橋 → （移動） → 16:00着 宿泊先 12:35着/13:35発 羽田空港 → （JAL495） → 高知竜馬空港 → （連絡バス → はりまや橋 → （移動） → 宿泊先 とさでん交通） 15:55着/15:55発 16:00着 宿泊先	高知市内
1月29日 （水）	8:30発 宿泊先 → （貸切バス） → 須崎東IC → 住友大阪セメント㈱高知工場 → （貸切バス） → 須崎東IC （高知自動車道）（視察）（高知自動車道） 9:20着/9:30～11:30/11:30発 13:50着/14:00～16:00/16:00発 高知竜馬空港IC → JAMSTEC高知コア研究所 → （貸切バス） → 宿泊先 （高知東部自動車道）（視察） 17:00着 宿泊先	高知市内
1月30日 （木）	9:00発 宿泊先 → （移動） → 9:10着/9:35発 はりまや橋 → （連絡バス → 高知竜馬空港 → （JAL494） → 12:35着/13:10発 羽田空港 13:28着/13:38発 浜松町 → （JR京浜東北線） → 13:42着/14:20発 東京 → （はやぶさ27号） → 17:04着 八戸	高知市内

旅 費 額 計 算 書

【坂本議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎							
行	1/27	八戸駅発 7:17	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考				
き	1/27	横須賀中央駅着 12:43	早見表								
帰	1/31	はりまや橋発 9:35									
り	1/31	八戸駅着 17:04									
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃		694.3k	10,340	18,600	八戸⇄横須賀（往復割引）		
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k		
						1	△200	△200	閑散期割引(1/27)		
				急							
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k		
				京浜急行電鉄		1	670	670	横須賀中央→京急蒲田 →羽田空港		
				京浜急行バス		1	200	200	横須賀駅→横須賀中央駅		
				とさでん 交通	1	230	230	はりまや橋→県庁前			
					1	500	500	県庁前→後免西町			
					1	500	500	後免西町→はりまや橋			
				航空機		1	43,640	43,640	羽田空港⇄高知竜馬空港		
				連絡バス		2	900	1,800	高知竜馬空港⇄はりまや橋		
				貸切バス ※		1	19,800	19,800	宿泊ホテル⇄視察先		
				宿泊料	4	12,500	50,000	横須賀市内泊(1/27)			
								高知市内泊(1/28～1/30)			
				小 計						159,480	
				合 計（小計×人数）						159,480	1 名

※ 貸切バス代・総額を本視察に参加した人数で案分して計上。

99,000 円（総額）÷5 名（参加人数）＝19,800 円

・日程：令和7年1月27日(月)～31日(金)

・場所：神奈川県横須賀市・高知県須崎市・高知県南国市・高知県高知市

坂本議員

月日	行程	宿泊地
1月27日 (月)	7:17発 八戸 → (はやぶさ8号) → 東京 → (JR横須賀線) → 横須賀 12:25着/12:35発 → (京浜急行バス) → 横須賀中央 → (移動) → セントラルホテル 12:50着/13:00～19:00 (海洋フォーラム等)	横須賀市内
1月28日 (火)	8:10～11:00 (途中退出) 横須賀市内 → (移動) → 横須賀中央 → (京浜急行電鉄・快特) → 京急蒲田 12:15着/12:25発 (京浜急行電鉄空港線 特急) 12:35着/13:35発 羽田空港 → (JAL495) → 高知竜馬空港 → (連絡バス → ばりまや橋 → (移動) → 16:00着 宿泊先) 15:05着/15:30発 高知竜馬空港 → (JAL495) → 高知竜馬空港 → (連絡バス → ばりまや橋 → (移動) → 16:00着 宿泊先)	高知市内
1月29日 (水)	8:30発 宿泊先 → (貸切バス) → 須崎東IC → 住友大阪セメント(株)高知工場 → (貸切バス) → 須崎東IC (高知自動車道) (視察) 9:20着/9:30～11:30/11:30発 住友大阪セメント(株)高知工場 → (貸切バス) → 須崎東IC (高知自動車道) 13:50着/14:00～16:00/16:00発 高知竜馬空港IC → 高知JCT → 高知竜馬空港IC → JAMSTEC高知コア研究所 → (貸切バス) → 17:00着 宿泊先 (高知自動車道) (視察)	高知市内

令和6年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟海洋フォーラム等及び
国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進八戸市議会議員連盟・エネルギー研究開発促進八戸市議会議員連盟 先進事例視察
高知県南国市視察 行程

・日程：令和7年1月27日（月）～31日（金）

・場所：神奈川県横須賀市・高知県須崎市・高知県南国市・高知県高知市

坂本議員

月日	行程		宿泊地
1月30日 (木)	9:15発 [宿泊先] → (移動) → 9:20着/9:30発 [はりまや橋] → (とさでん交通) → 9:35着/9:40発 [県庁前] → (移動) → 9:50着/10:00～10:30/10:35発 [高知市役所] → (移動) → 10:45着/13:21発 [県庁前] → (とさでん交通) → 14:01着/14:05発 [後免西町] → (移動) → 14:20着/14:30～16:00/16:05発 [南国市役所] → (移動) → 16:20着/16:32発 [後免西町] → (とさでん交通) → 17:07着/17:10発 [はりまや橋] → (移動) → 17:15着 [宿泊先]	高知市役所 10:00～10:30 南国市役所 14:30～16:00 議会改革の取組について 南国市地域公共交通計画について	高知市内
1月31日 (金)	9:00発 [宿泊先] → (移動) → 9:10着/9:35発 [はりまや橋] → (連絡バス) → 10:00着/11:20発 [高知電馬空港] → (JAL494) → 12:35着/13:10発 [羽田空港] → (東京モレール) → 13:28着/13:38発 [浜松町] → (JR京浜東北線) → 13:42着/14:20発 [東京] → (はやぶさ27号) → 17:04着 [八戸]		

旅 費 額 計 算 書

【藤川議員】

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行 き	1/27	八戸駅発 7:17	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
	1/27	横須賀中央駅着 12:43	早見表					
帰 り	1/28	横須賀中央駅発 13:16						
	1/28	八戸駅着 17:04						
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	694.3k	10,340	18,600	八戸⇄横須賀（往復割引）	
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					2	△200	△400	閑散期割引 (1/27, 1/28)
			急					
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			京浜急行バス		2	200	400	横須賀駅⇄横須賀中央駅
宿泊料	1	12,500	12,500	横須賀市内泊（1/27）				
小 計						54,840		
合 計（小計×人数）						54,840	1名	

令和6年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟海洋フォーラム等 視察行程

・日程：令和7年1月27日（月）～1月28日（火）

・場所：神奈川県横須賀市

藤川議員

月 日	行 程	宿泊地
1月27日 (月)	7:17発 八戸 → (はやぶさ8号) → 10:33着/11:07発 東京 → (JR横須賀線) → 12:25着/12:35発 横須賀 → (京浜急行バス) → 12:43着/12:45発 横須賀中央 → (移動) → 12:50着/13:00～19:00 セントラルホテル (海洋フォーラム等)	横須賀市内
1月28日 (火)	8:10～12:30 横須賀市内 (視察) → (移動) → 13:16発 横須賀中央 → (京浜急行バス) → 13:25着/13:34発 横須賀 → (JR横須賀線) 13:44着/13:52発 逗子 → (JR横須賀線) → 14:53着/14:20発 東京 → (はやぶさ27号) → 17:04着 八戸	

旅 費 額 計 算 書

【日當議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎				
行	1/27	八戸駅発 8:11	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	1/27	横須賀中央駅着 13:15	早見表					
帰	1/30	はりまや橋発 9:35						
り	1/30	八戸駅着 17:04						
経路・滞在地 別紙のとおり					694.3k	10,340	18,600	八戸⇄横須賀（往復割引）
				鉄道運賃				
				急行料金	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
				特	2	△200	△400	閑散期割引 (1/27, 1/30)
				急				
				特別車両料金	2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				京浜急行電鉄	1	670	670	横須賀中央→京急蒲田 →羽田空港
				京浜急行バス	1	200	200	横須賀駅→横須賀中央駅
				航空機	1	35,060	35,060	羽田空港⇄高知竜馬空港
				モノレール	1	520	520	羽田空港→浜松町
				連絡バス	2	900	1,800	高知竜馬空港⇄はりまや橋
				貸切バス※	1	19,800	19,800	宿泊ホテル⇄視察先
				宿泊料	3	12,500	37,500	横須賀市内泊(1/27) 高知市内泊(1/28, 1/29)
				小 計		137,490		
				合 計（小計×人数）		137,490		1名

※ 貸切バス代…総額を本視察に参加した人数で案分して計上。

99,000円（総額）÷5名（参加人数）=19,800円

・日程：令和7年1月27日（月）～30日（木）

・場所：神奈川県横須賀市・高知県須崎市・高知県南国市

日當議員

月 日	行 程	宿泊地
1月27日 (月)	8:11発 八戸 → (はやぶさ10号) → 東京 → (JR横須賀線) → 逗子 → (JR横須賀線) 12:45着/13:09発 横須賀 → (京浜急行バス) → 横須賀中央 → (移動) → セントラルホテル (海洋フォーラム等) 13:15着/13:20発 横須賀中央 → (移動) → 逗子 → (JR横須賀線) → 12:30着/12:35発 逗子 → (JR横須賀線) → 13:25着/13:45～16:50	横須賀市内
1月28日 (火)	8:10～11:00 (途中退社) 横須賀市内 → (移動) → 横須賀中央 → (京浜急行電鉄・快特) → 京急蒲田 → (京浜急行電鉄空港線 特急) 12:35着/13:35発 羽田空港 → (JAL495) → 高知竜馬空港 → (連絡バス) → はりまや橋 → (移動) → 16:00着 宿泊先 とさでん交通	高知市内
1月29日 (水)	8:30発 宿泊先 → (貸切バス) → 須崎東IC → 住友大阪セメント㈱高知工場 → (貸切バス) → 須崎東IC (高知自動車道) 9:20着/9:30～11:30/11:30発 須崎東IC → 高知JCT → 高知竜馬空港IC → JAMSTEC高知コア研究所 → (貸切バス) → 17:00着 宿泊先 高知JCT → 高知竜馬空港IC → (高知自動車道) (視察) 13:50着/14:00～16:00/16:00発 JAMSTEC高知コア研究所 → (貸切バス) → 17:00着 宿泊先	高知市内
1月30日 (木)	9:00発 宿泊先 → (移動) → 9:10着/9:35発 はりまや橋 → (連絡バス) → 高知竜馬空港 → 10:00着/11:20発 高知竜馬空港 → (JAL494) → 12:35着/13:10発 羽田空港 13:28着/13:38発 浜松町 → (JR京浜東北線) → 13:42着/14:20発 東京 → (はやぶさ27号) → 17:04着 八戸	高知市内

旅 費 額 計 算 書

【長谷川議員】

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎						
行	1/28	本八戸駅前発 7:45	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
き	1/28	はりまや橋着 15:50	早見表						
帰	1/30	はりまや橋発 9:35							
り	1/30	本八戸駅前着 17:20							
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃						
			急行料金		特				
					急				
			特別車両料金						
			航空機		1	44,742	44,742	三沢空港⇄羽田空港⇄高知竜馬空港	
			連絡バス		2	900	1,800	高知竜馬空港⇄はりまや橋	
					2	1,500	3,000	本八戸駅前⇄三沢空港	
			貸切バス※		1	19,800	19,800	宿泊ホテル⇄視察先	
			宿泊料		2	12,500	25,000	高知市内泊(1/28, 1/29)	
			小 計					94,342	
			合 計 (小計×人数)					94,342	1 名

※ 貸切バス代・総額を本視察に参加した人数で案分して計上。

99,000 円 (総額) ÷ 5 名 (参加人数) = 19,800 円

国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進八戸市議会議員連盟
エネルギー研究開発促進八戸市議会議員連盟 先進事例視察行程

・日程：令和7年1月28日（火）～30日（木）

・場所：高知県須崎市・高知県南国市

長谷川議員

月日	行程	宿泊地
1月28日 (火)	7:45発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 8:40着/9:40発 三沢空港 → (JAL152) → 11:05着/13:35発 羽田空港 → (JAL495) → 15:05着/15:30発 高知竜馬空港 → (連絡バス) → 15:50着/15:55発 ばりまや橋 → (移動) → 16:00着 宿泊先 とさでん交通)	高知市内
1月29日 (水)	8:30発 宿泊先 → (貸切バス) → 須崎東IC → 9:20着/9:30～11:30/11:30発 往友大阪セントラル(株)高知工場 (視察) → (貸切バス) → 須崎東IC → (貸切バス) → 高知JCT → 高知竜馬空港IC (高知東部自動車道) → 13:50着/14:00～16:00/16:00発 JAMSTEC高知コア研究所 → 17:00着 宿泊先 (視察)	高知市内
1月30日 (木)	9:00発 宿泊先 → (移動) → 9:10着/9:35発 ばりまや橋 → (連絡バス) → 10:00着/11:20発 高知竜馬空港 → (JAL494) → 12:35着/14:55発 羽田空港 → (JAL157) → 16:15着/16:30発 三沢空港 → (連絡バス) → 17:20着 本八戸駅前	

令和7年3月5日

会派名 自民クラブ

代表者名 立花敬之様

氏名 立花敬之
坂本美洋
藤川優里
日當正男
長谷川ひろゆき



調査視察等報告書

令和6年10月21日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 立花敬之議員、坂本美洋議員、
藤川優里議員、日當正男議員、
長谷川ひろゆき議員
- 2 期間 ○立花議員、日當議員
令和7年1月27日（月）～令和7年1月30日（木）
○坂本議員
令和7年1月27日（月）～令和7年1月31日（金）
○藤川議員
令和7年1月27日（月）～令和7年1月28日（火）
○長谷川議員
令和7年1月28日（火）～令和7年1月30日（木）
- 3 場所 ○立花議員、坂本議員、日當議員
神奈川県横須賀市、高知県須崎市、高知県南国市
○藤川議員
神奈川県横須賀市
○長谷川議員
高知県須崎市、高知県南国市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 497,162円
- 6 概要 別紙のとおり

日程：令和7年1月27日（月）～30日（木）
場所：神奈川県横須賀市・高知県須崎市・高知県南国市

立花議員

月日	行程		宿泊地
1月27日 （月）	7:17発 八戸 → （はやぶさ8号） → 東京 → （JR東海道本線） → 横浜 → （京浜急行電鉄・快特） → 11:47着 横須賀中央 → （移動） → セントラルホテル （海洋フォーラム等） 13:00～19:00	11:12着/11:21発 横浜 → （京浜急行電鉄・快特）	横須賀市内泊
1月28日 （火）	8:10～11:00 横須賀市内（視察） → （移動） → 横須賀中央 → （京浜急行電鉄・快特） → 京急蒲田 → （京浜急行電鉄空港線特急） 12:35着/13:35発 羽田空港 → （JAL495） → 高知竜馬空港 → （連絡バス → とさでん交通） → 15:50着 はりまや橋 → （移動） → 宿泊先	12:15着/12:25発 京急蒲田 → （京浜急行電鉄空港線特急） 15:50着 はりまや橋 → （移動） → 宿泊先	高知市内泊
1月29日 （水）	8:30発 宿泊先 → （貸切バス） → 須崎東IC → 住友大阪セメント㈱高知工場（視察） （西鉄イン高知はりまや橋付近）（高知自動車道） → 12:00着/13:00発 道の駅かわうその里すざき（昼食） → （貸切バス） → 須崎中央IC → 高知IC → 高知竜馬空港IC 13:55着/14:00～16:00/16:10発 JAMSTEC高知コア研究所 → （貸切バス） → 宿泊先 （視察）（一般道・国道55号）	9:20着/9:30～11:30/11:40発 住友大阪セメント㈱高知工場（視察） （高知自動車道） 須崎中央IC → 高知IC → 高知竜馬空港IC （高知自動車道）（高知東部自動車道）	高知市内泊
1月30日 （木）	9:00発 宿泊先 → （移動） → はりまや橋 → （連絡バス → とさでん交通） 13:28着/13:38発 （東京モレール） → 浜松町 → （JR京浜東北線） → 13:42着/14:20発 東京 → （はやぶさ27号） → 八戸 12:35着/13:10発 高知竜馬空港 → （JAL494） → 羽田空港	10:00着/11:20発 高知竜馬空港 → （JAL494） → 羽田空港 13:42着/14:20発 東京 → （はやぶさ27号） → 八戸	高知市内泊

・日程：令和7年1月27日(月)～31日(金)

・場所：神奈川県横浜須賀野市・高知県須賀野市・高知県高知市・高知県南国市

坂本議員

月 日	行 程	宿泊地
1月27日 (月)	7:17発 八戸 → (はやぶさ8号) → 10:33着/10:47発 → 東京 → (JR東海道本線) → 横浜 → 11:12着/11:21発 → (京浜急行電鉄・快特) → 11:47着 横須賀中央 → (移動) → 13:00～19:00 セントラルホテル (海洋フォーラム等) 8:10～11:00 横須賀市内 (視察) → (移動) → 11:35発 横須賀中央 → (京浜急行電鉄・快特) → 12:15着/12:25発 京急浦田 → (京浜急行電鉄空港線 特急) 12:35着/13:35発 羽田空港 → (JAL495) → 15:05着/15:30発 高知竜馬空港 → (連絡バス → 15:50着 はりまや橋 → (移動) → 宿泊先 とさでん交通) 8:30発 宿泊先 → (貸切バス) → 須崎東IC → 9:20着/9:30～11:30/11:40発 住友大阪セメント(株)高知工場 → (貸切バス) (西鉄イン高知はりまや橋付近) (高知自動車道) (視察) (一般道・国道56号) → 12:00着/13:00発 道の駅かわわその里すさき (昼食) → (貸切バス) → 須崎中央IC → 高知IC → 高知竜馬空港IC (高知自動車道) (高知自動車道)	横須賀市内泊
1月28日 (火)	13:55着/14:00～16:00/16:10発 JAMSTEC高知IC研究所 → (貸切バス) → 宿泊先 (視察) (一般道・国道55号)	高知市内泊
1月29日 (水)		高知市内泊

長谷川サト子 須賀野市視察
提出資料

国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進八戸市議会議員連盟・エネルギー研究開発促進八戸市議会議員連盟 先進事例視察行程
 令和6年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟海洋フォーラム等及び
 高知県高知市視察、高知県南国市視察 行程

坂本議員

・日程：令和7年1月27日（月）～31日（金）
 ・場所：神奈川県横須賀市・高知県須崎市・高知県高知市・高知県南国市

月 日	行 程	宿泊地
1月30日 (木)	9:15発 宿泊先 → (移動) → 9:20着/9:30発 → はりまや橋 → (とさでん交通) → 9:35着/9:40発 → 県庁前 9:50着/10:00～10:30/10:35発 → 高知市役所 (視察) → (移動) → 10:45着/13:21発 → 県庁前 (昼食) → (とさでん交通) → 14:01着/14:05発 → 後免西町 14:20着/14:30～16:00/16:05発 → 南国市役所 (視察) → (移動) → 16:20着/16:32発 → 後免西町 → (とさでん交通) → 17:07着/17:10発 → はりまや橋 17:15着 → 宿泊先 高知市役所 10:00～10:30 南国市役所 14:30～16:00 議会改革の取組について 南国市地域公共交通計画について	高知市内泊
1月31日 (金)	9:00発 宿泊先 → (移動) → 9:10着/9:35発 → はりまや橋 → (連絡バス) → 10:00着/11:20発 → 高知竜馬空港 → (JAL494) 12:35着/14:55発 → 羽田空港 → (JAL157) → 16:15着/16:30発 → 三沢空港 → (連絡バス) → 17:20着 → 本八戸駅前	

令和6年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟海洋フォーラム等 視察行程

・日程：令和7年1月27日（月）～ 1月28日（火）

・場所：神奈川県横須賀市

藤川議員

月 日	行 程			宿泊地
1月27日 (月)	7:17発 八戸 → (はやぶさ8号) → 10:33着/10:47発 東京 → (JR東海道本線) → 11:12着/11:21発 横浜 → (京浜急行電鉄・快特) → 11:47着 横須賀中央 → (移動) → 13:00～19:00 セントラルホテル (海洋フォーラム等)			横須賀市内
1月28日 (火)	8:10～12:30 横須賀市内 (視察) → (移動) → 13:02発 横須賀中央 → (京浜急行電鉄・特急) → 13:30着/13:42発 横浜 → (JR東海道本線) 14:08着/14:20発 東京 → (はやぶさ27号) → 17:04着 八戸			

・日程：令和7年1月27日（月）～30日（木）

・場所：神奈川県横須賀市・高知県須崎市・高知県南国市

日 議 員

月 日	行 程	宿泊地
1月27日 (月)	8:11発 八戸 → (はやぶさ10号) → 東京 → (JR東海道本線) → 横浜 → (京浜急行電鉄・特急) 12:20着 横須賀中央 → (移動) → セントラルホテル (海洋フォーラム等) 13:45～16:50	横須賀市内泊
1月28日 (火)	8:10～11:00 横須賀市内 (視察) → (移動) → 横須賀中央 → (京浜急行電鉄・快特) → 京急蒲田 → (京浜急行電鉄空港線 特急) 12:35着/13:35発 羽田空港 → (JAL495) → 高知電馬空港 → (連絡バス → (移動) → 泊泊先 とさでん交通) 15:05着/15:30発 高知電馬空港 → 高知IC → (高知自動車道) → 高知電馬空港IC 15:50着 泊泊先 → (移動) → 泊泊先 とさでん交通)	高知市内泊
1月29日 (水)	8:30発 泊泊先 → (貸切バス) → 須崎東IC → (高知自動車道) → 須崎中央IC → 高知IC → 高知電馬空港IC 12:00着/13:00発 道の駅かわうその里すさき (昼食) → (貸切バス) → 泊泊先 13:55着/14:00～16:00/16:10発 JAMSTEC高知コア研究所 → (貸切バス) → 泊泊先 (視察) (一般道・国道55号)	高知市内泊
1月30日 (木)	9:00発 泊泊先 → (移動) → 泊泊先 → (連絡バス → (高知自動車道) とさでん交通) 9:10着/9:35発 泊泊先 → 泊泊先 → (連絡バス → (高知自動車道) とさでん交通) 10:00着/11:20発 高知電馬空港 → (JAL494) → 羽田空港 12:35着/13:10発 泊泊先 → (移動) → 泊泊先 → (連絡バス → (高知自動車道) とさでん交通) 13:28着/13:38発 泊泊先 → 泊泊先 → (JR京浜東北線) → (はやぶさ27号) → 八戸 13:42着/14:20発 東京 → (はやぶさ27号) → 八戸 17:04着 八戸	高知市内泊

国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進八戸市議会議員連盟
エネルギー研究開発促進八戸市議会議員連盟 先進事例視察行程

・日程：令和7年1月28日（火）～30日（木）

・場所：高知県須崎市・高知県南国市

長谷川議員

月日	行程	宿泊地
1月28日 (火)	7:45発 本八戸駅前 → (連絡バス) → 8:40着/9:40発 三沢空港 → (JAL152) → 11:05着/13:35発 羽田空港 → (JAL495) 15:05着/15:30発 → 高知竜馬空港 → (連絡バス) → 15:50着/15:55発 はりまや橋 → (移動) → 16:00着 宿泊先 とさでん交通)	
1月29日 (水)	8:30発 宿泊先 → (貸切バス) → 須崎東IC → 9:20着/9:30～11:30/11:40発 住友大阪セメント(株)高知工場 → (貸切バス) (西鉄イン高知はりまや橋付近) (高知自動車道) (視察) (一般道・国道56号) 12:00着/13:00発 道の駅かわうその里すさぎ → (貸切バス) → 須崎中央IC → 高知IC → 高知竜馬空港IC (昼食) (高知自動車道) (高知東部自動車道) 13:55着/14:00～16:00/16:10発 → JAMSTEC高知コア研究所 → (貸切バス) → 宿泊先 (視察) (一般道・国道55号)	高知市内泊
1月30日 (木)	9:00発 宿泊先 → (移動) → 9:10着/9:35発 三沢空港 → (連絡バス) → 10:00着/11:20発 高知竜馬空港 → (JAL494) (移動) → 16:15着/16:30発 三沢空港 → (連絡バス) → 17:20着 本八戸駅前	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	10-1
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No.123687

2025年1月22日

長谷川ひろゆき 様

金 額	¥19800
-----	--------

但し 1/29貸切バス代として

10%対象(税込) 19800 0%対象

内 消費税 1800 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収入
用 印紙

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	



北日本トラベル 株式会社

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印



とさでん交通株式会社

領 収 書

空港連絡バス乗車券代

2025年 1月30日(木) 09:26 001号機

大人 @900x 1枚

合計 900円

お預り 1,000円

おつり 100円

上記金額を領収いたしました

領 収 書

長谷川ひろゆき 様

2025年 1月28日(火) 15:23 001号機

¥900-

上記金額を領収いたしました
但し バス乗車代としてとさでん交通株式会社
株式会社高知駅前観光

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	10-1
領 収 書 等 貼 付 欄					



JAPAN AIRLINES

Web d071260aef6e24ab34f6b43403a0bfdb
2025年04月14日 12:17発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

長谷川ひろゆき 様

金額 44,742円（税込み）

但し

運賃・料金として

航空券/料金券番号

1312207860236

航空券/料金券発行日

2024年10月21日

発行所

日本航空

備考

現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書 (再発行)

調査研究費

旅費 整理番号

10-1

Rakuten Travel

発行日: 2025/5/1

発行2回目

ハセガワヒロユキ

様

支払金額

18,000 円

宿泊料金: 20,500 円

クーポン利用額: -2,500 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

クレジットカード決済金額

18,000 円

■ 課税対象

10%対象

18,000 円

課税対象外

0 円

■ 利用内容

宿泊者氏名

はせがわ ひろゆき

予約番号

RYa0j3ex1k

宿泊施設

西鉄イン高知 はりまや橋

宿泊施設住所

高知県高知市はりまや町1-1-3

チェックイン日

2025/1/28

チェックアウト日

2025/1/30

宿泊人数

大人 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	10-2
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No.123686

2025年 1 月 22 日

白 富 正 男 様

金 額 ￥ 7,766.60

但し 航空機・船舶・貸切バス代として

10%対象(税込) 7766.60 0%対象

内 消費税 766.0 円 上記の金額正に領収致しました。

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	



株式会社 北日本トラベル

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印

領 収 証

2025年 1 月 9 日

白 富 正 男 様

金 26,320 円

ただし、1/27~30八戸~横浜往復乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

鮫401 No.000002

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

調査研究費

旅費 整理番号

10-2

ご旅行代金明細書

市議会議員連盟

御中

令和7年

北日本トラベル株式会社

店長 大

青森県八戸市北三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 4名 計 5名
 ご旅行期間 令和7年1月27日～1月30日
 ご旅行方面 神奈川県横須賀市・高知県はりまや町 表面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 452,100 円

明細内訳

項目	人員		各数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	4	41,340	土嶺・吉田・三浦・立花議員	165,360	八戸/津八戸～横浜(往復)	
航空機代	2	43,640		87,280	1/28～30 羽田～高知(往復) 土嶺議員・立花議員	
	1	35,060		35,060	1/28～30 羽田～高知(往復) 日置議員	
宿泊代	1	19,800	土嶺議員	19,800	1/28泊 西鉄伊～高知はりまや橋駅前	
	2	22,800	日置・立花議員	45,600	1/28泊 西鉄伊～高知はりまや橋駅前	
その他バス代	1	99,000	参加人数 99,000円	5名で案分 ÷5名=19,800円	99,000	1/28 高知駅前観光 27名乗り
明細金額小計					452,100	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					452,100	消費税10% 41,100円

特記事項

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	10-3
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2025年 1月22日

藤川優里 様

金41,340円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として 上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

八戸801 No.000010

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

日付 2025/01/28

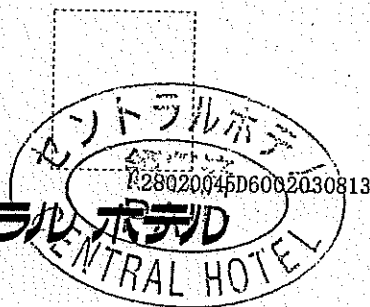
領 収 書
RECEIPTお名前 藤川 優里 様
NAME金 額
AMOUNT DUE ¥22,220

10%対象合計: 22,220 10%対象消費税: 2,020

ご宿泊代として

上記金額確かに領収致しました
We have receipt your payment.

CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018
〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8
TEL: 046-827-1111
FAX: 046-825-0837
E-Mail: front@central-h.co.jp
URL: http://www.central-wedding.com/

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

旅費の支出額が上限額を超えたため、
上限額54,840円を計上する。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	10-4
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No.123751

2025年2月4日

立花 敬之 様

金 額	¥127580
-----	---------

但し1/27~30 航空券・JR 宿泊・貸切バス代として

10%対象(税込) 127580

内 消費税 11598 円 上記の金額正に領収致しました。



現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	



登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印



とさでん交通株式会社

領 収 書

空港連絡バス乗車券代

2025年1月30日(木) 09:24 001号機

大人 @900x 1枚

合計 900円

お預り 900円

おつり 0円

上記金額を領収いたしました

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

調査研究費

旅費 整理番号

10-4

ご旅行代金明細書

市議会議員連盟

御中

令和7年1月

北日本トラベル株式会社

店長 大

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 夫人 4名 計 8名
 ご旅行期間 令和7年1月27日～1月30日
 ご旅行方面 神奈川県横浜須賀市・高知県はりまや町 方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金

452,100 円

明細内訳

項目	人員		省数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	4	41,340	土嶺・吉田・三浦・立花議員		165,360	八戸/本八戸～横浜(往復)
航空機代	2	43,640			87,280	1/28～30 羽田～高知(往復) 土嶺議員・立花議員
	1	35,060			35,060	1/28～30 羽田～高知(往復) 田嶋議員
宿泊代	1	19,800	土嶺議員		19,800	1/28泊 西鉄イン高知はりまや橋駅前
	2	22,800	日富・立花議員		45,600	1/28泊 西鉄イン高知はりまや橋駅前
マイクロバス代	1	99,000	参加人数 5名で案分 99,000円 ÷ 5名 = 19,800円		99,000	1/29 高知駅前観光 27名乗り
明細金額小計					452,100	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					452,100	消費税10% 41,100円

特記事項

調査研究費

旅費 整理番号

10-4
No

第1号様式 (第5条、第8条関係)

請求書・領収書

RECEIPT

 セントラルホテル
CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

お部屋番号 709 お名前 立花 敬之 様
ROOM No. NAME

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2025/01/27	2025/01/28	1	2025/01/28	

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘要 DESCRIPTION	料金 CHARGES	お預り金 DEPOSIT	残高 BALANCE
01/27	709	ご宿泊代	11,000		
01/27	709	*お預り金 お支払い		11,000	0

総合計 TOTAL	10%対象(税込) CHARGES	お預り金 DEPOSIT	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND	10%対象消費税額 宿舎分の消費税は含みません
	11,000	11,000	0	0	1,000

会社名
COMPANY NAME

28020029P6002030035

CA

ご住所
ADDRESSご署名
SIGNATURE

ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。

Thank you for staying with us. We look forward to the pleasure of serving you again.

EIG※

日付 2025/01/28

領収書
RECEIPTお名前 立花 敬之 様
NAME金額
AMOUNT DUE ¥11,000

10%対象合計: 11,000 10%対象消費税: 1,000

ご宿泊代として

上記金額確かに領収致しました
We have receipt your payment. セントラルホテル
CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	10-5
領 収 書 等 貼 付 欄					

領収番号 R-HE-2400001328

収入印紙

領 収 証

2024年12月4日

坂本 美洋 様

¥54,940

但し 1/28～31 航空券代、宿泊費として

上記正に受領しました。

消費税10%対象額	¥ 54,940	(内消費税 ¥4,995)
消費税 8%対象額	¥ -	(内消費税 ¥0)
消費税対象外	¥ -	

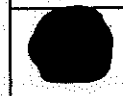
現金	
振込入金	
クレジット	✓
相殺	

登録番号 T6-4200-0100-6634



営業部

発行者



〒031-0086 青森県八戸市八日町2 TEL:0178-44-8181

払戻の際には領収書が必要となります。

※マークは特殊インキで印刷してあるため、温度が上がると消色します。(マークをゆびで擦ったり、息を吹きかけたりして温めてください)

作成日 2024年11月5日

請 求 書

請求番号 S-HE-2400001839

登録番号 T6-4200-0100-6634

坂本 美洋 様



営業部

TEL:0178-44-8181 FAX:0178-44-8184

●乙旅行先

高知方面

●旅行期間

2025/1/28 ~ 2025/1/31

取扱管理者

担当者

■この度は当社をご利用頂き誠に有難う御座います。つきましては下記の通り御請求させていただきます。

[illegible]

《お振込み先》

口座名：ミヤゴカンコウ（カ

振込手数料は、お客様にてご負担くださいますようお願いいたします。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	10-5
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No.123785

2025年 3 月 5 日

坂本 美洋 様

金 額			¥	1	9	8	0	0
-----	--	--	---	---	---	---	---	---

但し 貸切バス代として

10%対象(税込) 19800

内 消費税 1800 円 上記の金額正に領収致しました。

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	



北日本トラベル

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151(代)



扱 者 印



領 収 証

坂本 美洋 様

2025年 1月17日

金28,780円

ただし、乗車券類代

(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸802 No.000020

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	調査研究費	費 目	旅費	整理番号	10-5
領 収 書 等 貼 付 欄					

日付 2025/01/28

領 収 書
RECEIPTお名前 坂本 美洋 様
NAME金 額 ¥11,000
AMOUNT DUE

10%対象合計: 11,000 10%対象消費税: 1,000

ご宿泊代として

上記金額確かに領収致しました
We have receipt your payment.

CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

調査視察報告書

①日 時：令和7年1月27日（月）～28日（火）

場 所：神奈川県横須賀市

参加議員：日當正男、藤川優里、立花敬之、坂本美洋

②日 時：令和7年1月29日（水）

場 所：高知県須崎市

参加議員：日當正男、立花敬之、坂本美洋

③日 時：令和7年1月29日（水）

場 所：高知県南国市

参加議員：日當正男、立花敬之、坂本美洋

④日 時：令和7年1月30日（木）

場 所：高知県高知市・高知県南国市

参加議員：坂本美洋

【開催日時等】

○日時：令和7年1月27日（月）～28日（火）

○場所：神奈川県横須賀市

・横須賀海洋フォーラム：セントラルホテル（横須賀市若松町2-8）

・横須賀海洋フォーラム視察：横須賀市内（海上自衛隊横須賀総監部、JAMSTEC 本部）

【参加議員】

・日當正男、藤川優里、立花敬之、坂本美洋

【視察概要】

1 横須賀海洋フォーラム

(1) 基調講演

○演題 「ブルーカーボンについて」

○講師 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 理事長 桑江 朝比呂 氏

○概要

- ・このまま対策を講じなければ、地球温暖化による経済的損失は今世紀末に対 GDP 比で5%に達し、対策がうまくいったとしても1%程度になると予測されている。日本では5～25兆円になる勘定で、差分の4%を何とかすることが課題である。
- ・日本も2050年のカーボンニュートラルを宣言したが、対策に努めたとしても2050年時点で10～30%の残余排出が出るといわれており、10%としても年間1億トンの二酸化炭素の吸収・除去が必要である。日本の自然系の吸収・除去量は、森林による吸収をメインに年間5,000万トン程度であるが、今後森林の高齢化に伴い吸収量の低下が予測されている。
- ・海草や海藻によるブルーカーボンは炭素の貯留能力が高く、かつ現在想定されている吸収・除去技術のうちで最も総合評価が高いため世界的に注目されている。しかし、必要な吸収量を確保するには天然の藻場の維持・造成だけでは足りず、海藻養殖の拡大が不可欠である。
- ・多くの企業が二酸化炭素の排出ゼロやマイナスを目標に掲げており、排出オフセットのためのカーボンクレジットに対する需要が拡大している。しかしながら、藻場の造成など海洋における吸収源の創出は、これまで自治体や漁業者、市民団体などによるボランティアなものにとどまっており、公共事業による取組にも財政的な限界がある。
- ・ブルーカーボンの取組を社会実装するためには、ヒト・カネ・モノとこれらをつなぐ仕組みが必要である。そこでジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）を組織し、カーボンクレジットにより企業からの資金還流を実現するための仕組み（Jブルークレジット）についての社会実験を進めている。
- ・藻場の回復・造成、海藻養殖、人工構造物を利用した海藻培養など、海草・海藻を増やす取組の全てがクレジットの対象となるが、取組を通じて取組以前に比べて、また取組が行われていない場所と比

べて、二酸化炭素の吸収量が増えていることが定量的に示されること、クレジット販売による資金獲得が取組の継続に必要であることが客観的に示されることが基本的な条件である。

- ・クレジットの認証件数は、2020 年の 1 件から 2022 年には 21 件と急速に拡大しており、吸収量、販売金額も急速に拡大している。ブルーカーボンの取組は海域の環境改善や生物多様性保全にも効果を持つことが特徴であり、それが価格にも反映されている。
- ・ブルーカーボンの拡大には人工構造物の利用など新しい基盤の積極的な利用が不可欠であり、生産・生育過程のモニタリングのための計測技術の開発・運用も課題である。また、関係者にとって楽しく、儲かることが取組の発展・継続の鍵である。

(2) 事例発表

①「JAMSTEC の海洋 STEAM 教育」

発表者 国立研究開発法人 海洋研究開発機構

海洋科学技術戦略部 海洋 STEAM 推進課 課長 市原 盛雄 氏

概要 次世代の海洋人材育成につながる取組として、新たに「海洋 STEAM プロジェクト」を開始。教科等横断的な学習の STEAM 教育に着目し、学習指導要領に沿った海洋 STEAM 教材を学校教育現場で活用。地方自治体との連携によって実際に行った授業の事例など、これまでの取組状況と今後の展望について紹介。(詳細は配付資料を参照)

②「マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動」

発表者 八戸市水産科学館マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ

杉本 よし埜 氏、川口 慶治 氏、岩岡 美彩希 氏、平 希望 氏

概要 2007 年はちのへ「ちきゅう」情報館オープンと「ちきゅう」たんけんクラブ発足の経緯や会員の推移、近年の活動内容に関するもので 2024 年 5 月に開催された地球科学分野で国内最大の学会である JpGU（日本地球惑星科学連合）の大会で発表されたレポートを紹介。具体的には岩手県洋野町にある「辰の口」という岬のジオサイトとしての適性や魅力についての調査や考察など三陸ジオパークの魅力を全国に発信するものであった。今後は地域振興の可能性を考慮し、新たなコンテンツの開発と三陸ジオパークを世界ジオパークにするために協力していくという意欲のある発表であった。(詳細は配付資料を参照)

③「横須賀海洋クラブによる活動報告 ～ブルーカーボン生態系の保全に向けて～」

発表者 一般社団法人 BlueArch 代表理事 武藤 素輝 氏

横須賀海洋クラブ 大木 葵 氏

概要 一般社団法人 BlueArch はドローンと AI 技術を用いたブルーカーボン生態系の調査手法を開発し、調査結果が国内初の J ブルークレジット認証を取得した。これにより、従来の潜水調査手法に比べ効率性とコスト面での優位性が証明され、ブルーカーボンの保全や気候変動対策、生物多様性の保全促進に寄与している。

神奈川県内の調査では、水中ドローンや空中ドローンを使用し、AI 解析を活用して藻場の二酸化炭素の吸収量や分布面積を正確かつ効率的に算定しており、従来の手法に比べ、広域調査の実現やコスト削減効果が確認された。今後はさらに調査手法の高度化やパートナーシップの強化を通じ、海洋生態系保全の推進を目指している。

次に、横須賀海洋クラブの大木氏より同クラブのブルーカーボン推進に向けた具体的な事例を発表。(詳細は配付資料を参照)

④「海洋人材育成と NME の取組」

発表者 日本海洋事業株式会社 (NME) 代表取締役社長 山田 正克 氏

概 要 同社は海にまつわる調査・工事・教育という 3 つのフィールドで、その最前線を支える 3 つの事業を展開している。

○海洋知識と高い運航技術を活かした調査船や実習船などの運航管理をする運航事業。

○大気・海洋・地殻を対象にした調査データの解析や観測装置の運用を行う調査事業。

○深海調査における水中探査機の運用管理を主軸に、洋上風力発電や海底ケーブルに関する水中工事で活躍する大小様々な ROV のオペレーションを支援する水中機器事業。

これらの事業を推進し、未来を担うクリーンエネルギーへの貢献の先に、子どもたちの探求心があふれる未来をつくるというビジョンの実現を目指している。

(詳細は配付資料を参照)

2 横須賀海洋フォーラム視察 (海洋関連施設)

①海上自衛隊 横須賀基地

○護衛艦「いなづま」 艦内見学

- ・艦 種 むらさめ型護衛艦の 5 番艦 (日本の主力汎用護衛艦)
- ・就 役 2000 年 3 月 15 日
- ・定係港 呉港 (訓練のため横須賀入港中)
- ・基準排水量 4,550t
- ・主要寸法 長さ151m、幅17.4m、深さ10.9m
- ・主機械 ガスタービン×4 基、プロペラ 2 枚
- ・速 力 30kt (時速50km強)
- ・主要兵装 20ミリ機関砲、76ミリ速射砲
対空、対潜水艦ミサイル、魚雷発射管、対艦ミサイル、哨戒ヘリコプター
- ・乗 員 約165人

○潜水艦「とうりゅう」 艦内見学 (※防衛機密の関係により写真撮影禁止)

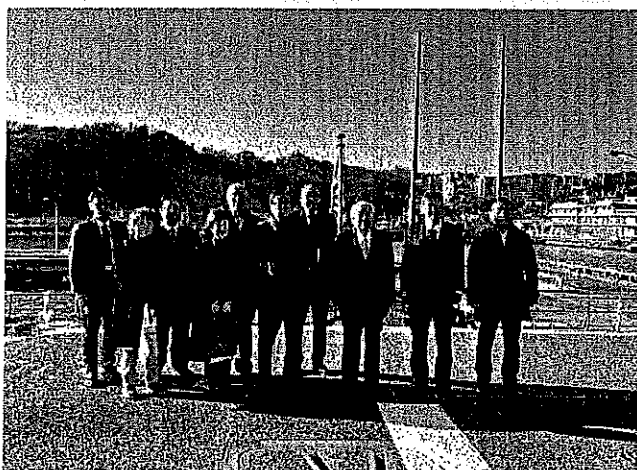
- ・艦 種 そうりゅう型12艦中の 5 番艦と11番艦
- ・艦 齢 約 5 年
- ・基準排水量 2,950t (原子力潜水艦以外では世界最大級)

- ・主要寸法 長さ84m、幅9.1m、深さ10.3m、喫水8.5m
- ・主機械 ディーゼル2基（発電用）、モーター1基（推進用）
- ・電池 リチウム
- ・時速 約32km（水中）、約21km（水上）
- ・主要兵装 魚雷、対艦ミサイル
- ・乗員 機密事項

②国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部

- ・理事長 大和 裕幸 氏 挨拶
- ・地球深部探査船「ちきゅう」研究航海「日本海溝巨大地震・津波発生過程の時空間変化の追跡（JTRACK）」報告
共同主席研究者・研究担当理事 小平 秀一 氏
- ・潜水調査船、無人探査機 視察
- ・海洋科学技術館 視察

【視察の様子】



【所感】

様々な立場からの講演を拝聴することにより、多角的に海洋研究とそれを取り巻く課題と将来性を捉えることができた。

海洋国家としてさらに発展するため、地方議会としてまた、議員連盟として何をすべきなのか今後も注視し、活動していきたい。

調査視察 報告書

1 視察地：高知県須崎市 住友大阪セメント株式会社 高知工場

- 1-1 視察日時
- 1-2 対応者
- 1-3 視察目的
- 1-4 座学および工場視察

2 視察所感

1 視察地：高知県須崎市 住友大阪セメント株式会社 高知工場

1-1 視察日時

令和7年1月29日（水）9:30～11:30

1-2 対応者

住友大阪セメント 高知工場 工場長 廣島 雅人 氏

住友大阪セメント 高知工場 副工場長 富川 修次 氏

住友大阪セメント 高知工場 業務課長 足立 泰史 氏

1-3 視察目的

住友大阪セメント株式会社高知工場では、産業活動から排出される産業廃棄物の他にも、暮らしのなかから排出される一般廃棄物のセメント資源化にも取り組まれている。また、一般廃棄物焼却灰のセメント資源化は、埋立処分場の延命だけではなく、環境負荷低減につながる事業であり、更なる地域社会への貢献と循環型社会の構築に貢献できるものとして取組をされている。

そして、セメント工場での資源リサイクルを行い、そのリサイクルによるエネルギー代替推進、省エネルギー設備導入の推進をされており、本市としても循環型エネルギーの活用の先進事例として参考に資するものである。

1-4 座学および工場視察

【足立氏の講義より】

- セメントの原料は石灰石・粘土・珪石・鉄原料・石膏であるが、粘土・鉄原料・石膏は、ほぼ全量廃棄物・副産物で代替している。
- エネルギーは通常、石炭と電力を使用している。石炭は廃タイヤ、廃プラスチック、木屑等で削減している。電力においては、廃熱発電 10%・自家発電 90%で自家発電率は 100%となっている。
- 原料粉砕機では、セメント原料と類似した成分の廃棄物・副産物を原料代替として大量に使用できるため、二次廃棄物が出ない。
- 焼成工程では、クリンカ鉱物を得るために 1,450℃で焼成することでダイオキシンの発生を少なくしている。また、石炭の灰もクリンカ鉱物となるため、2次廃棄物が発生しない。
- 仕上げ工程では、セメントの硬化時間を調整するため、クリンカに石膏を 4%程度添加して粉砕する。石膏は主に副産物の排脱石膏で、他に JIS 規格で石灰石や高炉スラグを 5%まで添加できる。また混合セメントも生産できる。
- 2023年度の主な廃棄物使用量では石炭灰 507,964 t、建設発生土 191,290 t、高炉粉 86,124 t、下水汚泥 27,958 t、焼却灰 23,280 t、廃プラスチック 7,428 tとなっている。
- 廃棄物使用するために、石炭灰（乾灰）貯蔵サイロ、廃タイヤ使用設備、廃プラスチック粉砕機、汚泥受入設備、フロン破壊設備などがある。

【質疑応答】

○発電に関して、水素を活用した発電の研究はどのようにされているのか。

→現在、循環流動層ボイラでの発電をしているため、水素やアンモニウムはなかなか使いづらい部分がある。もし、水素を活用するとなると大幅な改造が必要になってくる。しかし、今後の発電の在り方を検討し始めているところである。

○自家発電をするようになった時期はいつ頃か。

→1988年にディーゼル発電機 5,600kw のものを5台設備した。購入電力費を削減した。さらに1999年 61,000kw の自家発電を設備し、四国電力からの購入をやめる。これにより電気のコストを下げた。

○生産量1/3が海外に輸出しているが、どのように運搬しているのか。

→専用船をすぐそばに配備し、国内も含めてほぼ船で運搬している。国内はトラックで運搬している。

写真

【講義】



【工場見学①】



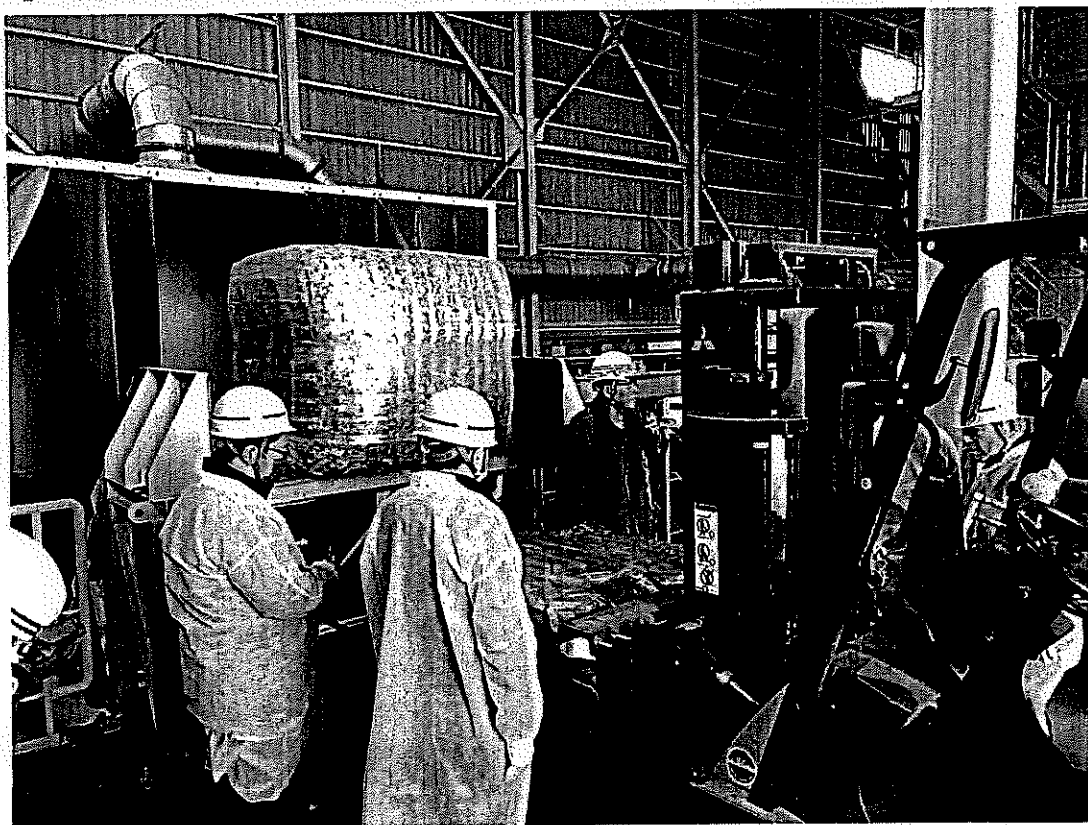
【工場見学②】



【工場見学③】



【工場見学④】



【集合写真】



2 視察所感

今回視察した住友大阪セメント（株）高知工場では、火力発電設備の主燃料を建築廃材や間伐材を活用した木質バイオマス燃料への置き換えや石炭火力の石炭代替品としてタイヤチップの使用など化石エネルギー削減に向けた取組、国内のセメント工場で唯一「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき許可を取得したフロン類破壊業者としてフロン類を受け入れ、消滅処理を行うことによる温室効果ガスの削減等に向けた取組など、カーボンニュートラルの実現に向けて積極的に取り組まれていた。

今後は、DXの進展などによるエネルギー需要の増加が見込まれるなか、エネルギーの安定供給のみならず、環境保護の観点から脱炭素の視点も併せ持った取組が重要な視点となるものと感じている。当市では、第2次八戸地球温暖化対策実行計画区域施策編において目指す環境像「環境・社会・経済のバランスのとれたグリーン社会の実現」に向け、脱炭素、循環型社会づくりを目標に取り組むこととしているが、その実現に向けて、同社における取組は大変参考になるものであった。

今回の事例を参考としながら、当市における今後の更なるエネルギー関連事業の進展や新たな研究開発の促進など、2050年カーボンニュートラルの実現に寄与する取組につなげることができるよう今後の活動に活かしていきたい。

報告書

1 視察地：高知県南国市 海洋研究開発機構 高知コア研究所

- 1-1 視察日時
- 1-2 対応者
- 1-3 視察目的
- 1-4 座学および研究所視察

2 視察所感

1 視察地 高知県南国市 海洋研究開発機構 高知コア研究所

1-1 視察日時

令和7年1月29日(水) 14:00～16:00

1-2 対応者

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 監事 菊池 聰 氏

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 超先鋭研究開発部門 高知コア研究所
研究所長 廣瀬 文洋 氏

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 超先鋭研究開発部門 高知コア研究所
物質科学研究グループ 主任研究員 濱田 洋平 氏

1-3 視察目的

この度、国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進八戸市議会議員連盟による先進事例視察が高知県において行われた。高知県南国市に研究拠点を構える海洋研究開発機構超先鋭研究開発部門高知コア研究所（以下：KCC）では、国際深海科学掘削計画（International Ocean Discovery Program :IODP）と過去の掘削計画で採取されたコア試料（地球深部探査船「ちきゅう」をはじめとする掘削船で採取された海底下深くの岩石や海底の泥など）を調査・分析・保管することで、世界の国々の様々な分野の研究に寄与・貢献をしている。

地震のメカニズムに関する研究（岩石物性研究）もその1つであり、物質科学の観点から、2011年に発生した東北地方太平洋沖地震や、今後発生が危険視されている南海トラフ地震等についても多角的に研究を行っている。

八戸市議会議員連盟としては、KCCが行う研究内容について見識を深めることは、様々な観点からも大変に意義のあることと認識している。今回は議員のみならず、八戸市の教育委員会、商工労働まちづくり部、文化観光スポーツ部の職員が視察に訪れていることから、研究内容に多様な価値を認めていることがうかがえる。

市議会議員連盟の目的は、学んだ内容を市民生活向上へとつなげることである。より良い方向へとつなげるためにも、各分野の専門である八戸市の執行部職員と共に、KCCの最新の研究成果から学んでいきたい。

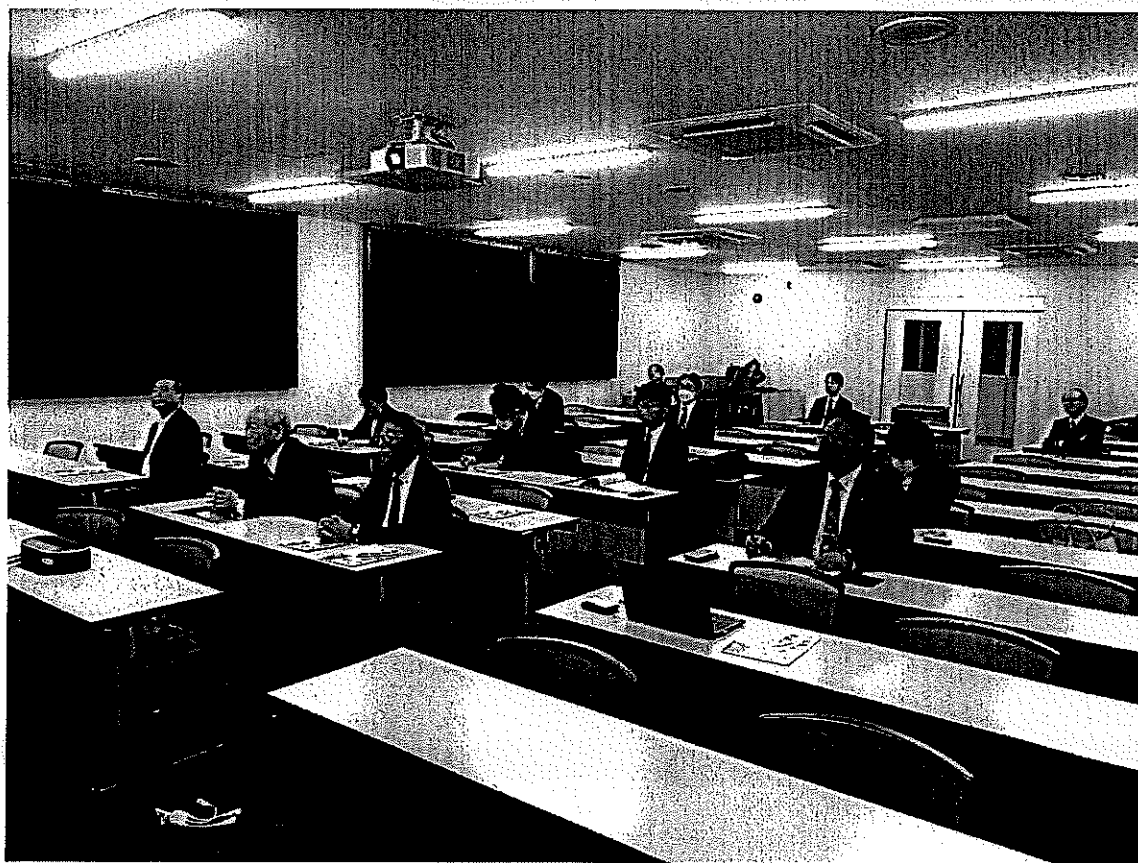
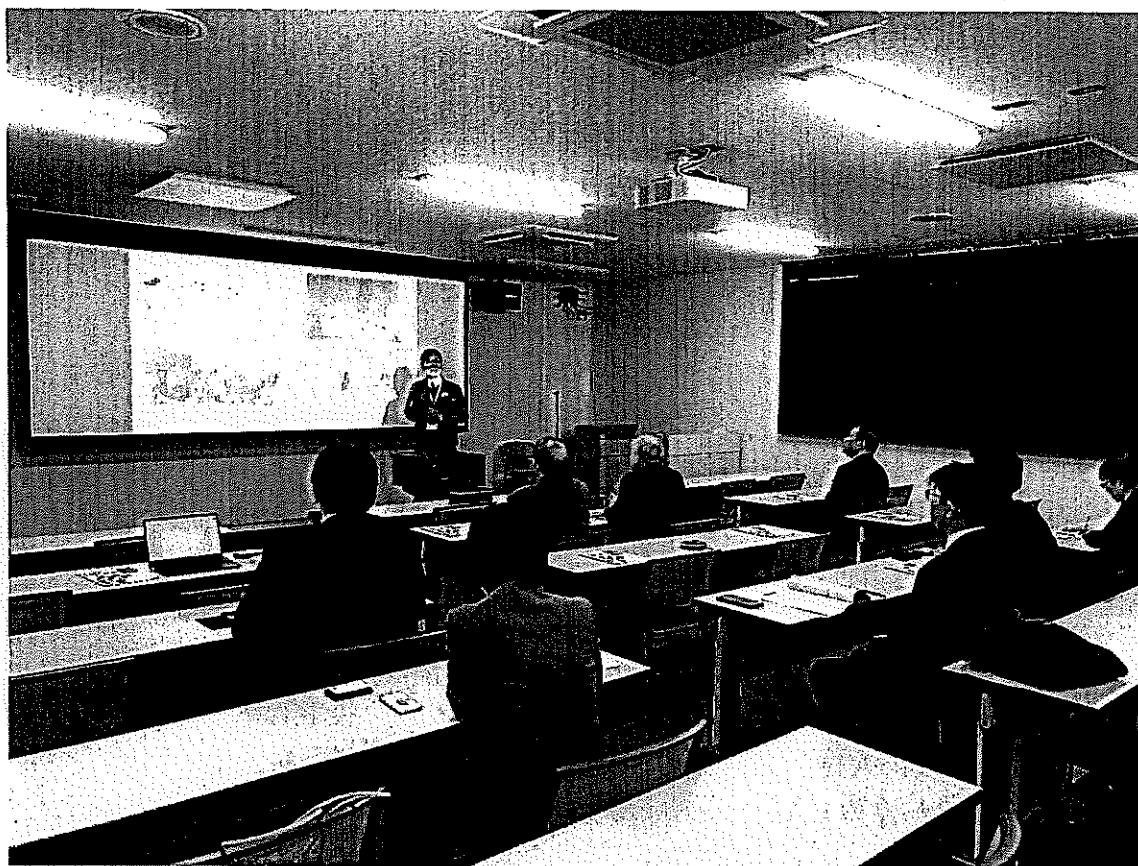
1-4 座学および研究所視察

【廣瀬氏の講義より】

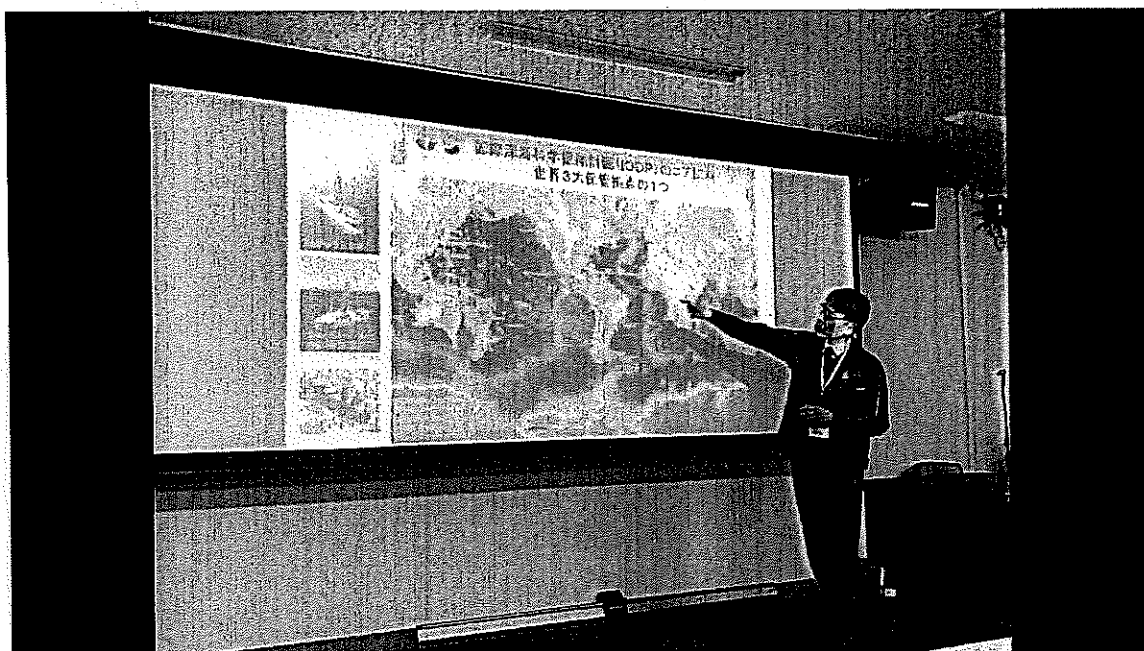
- KCCは掘削船「ちきゅう」と共に2005年に設立された。
- コア試料の保管は世界3地点（日本・ドイツ・アメリカ）で行っている。
- 掘削には莫大な費用がかかるため、世界で協力し、研究内容や成果は共有財産としている。
- KCCでは、西太平洋からインド洋で掘削されたコアを保管。
- 互いの研究所は協力体制になっていることから、他地点でのコアが欲しいときは提供してもらうことができる。
- コアの入った管は直径約30cm、長さは約1.5m程あり、半割して保管する。
- コアは地層であることから、それを分析・研究することで「地球の営みの痕跡」を知ることができる。
- 火山噴火や地震の痕跡等、その当時の地球に何があったのかを知ることができる。
- 高知コア研究所は高知大学と共同運営しているが、役割は異なる。
- KCCとしては、人材育成活動やアウトリーチも行っている。
- 大学と行政が協力している例は希少であり、何度か皇族の方々も視察に来られた。
- 連携大学院による教育もしている。研究員は高知大学や広島大学の客員教授としても教鞭を振っている。
- 「ちきゅう」が掘削したコア試料の分析によって、なぜ巨大な地震や津波が起こったのか等を調べている。東北地方太平洋沖地震断層掘削（2012）等
- 100m以上掘ることによって、過去4万年前までの地震状況を知ることが出来ている。

【濱田氏の講義より（コア試料に関する詳細な解説含む）】

- コアサンプルからは、断層岩の特性を把握することができる。
- 地震断層を貫通した孔に設置した温度計により、地震の余熱を検出。地震時の摩擦熱を推定することで、様々な事が読み取れた。
- 2012年の掘削では、推進7000mの日本海溝で850mを掘削。その結果、断層が大きく滑った原因が明らかになった。また、どの程度滑ったのかも判明した。
- この研究成果は、国や自治体の防災計画の立案に大きく貢献した。
- 今後の課題としては「超巨大地震震源断層の強度回復・応用蓄積過程を解明する」ことである。



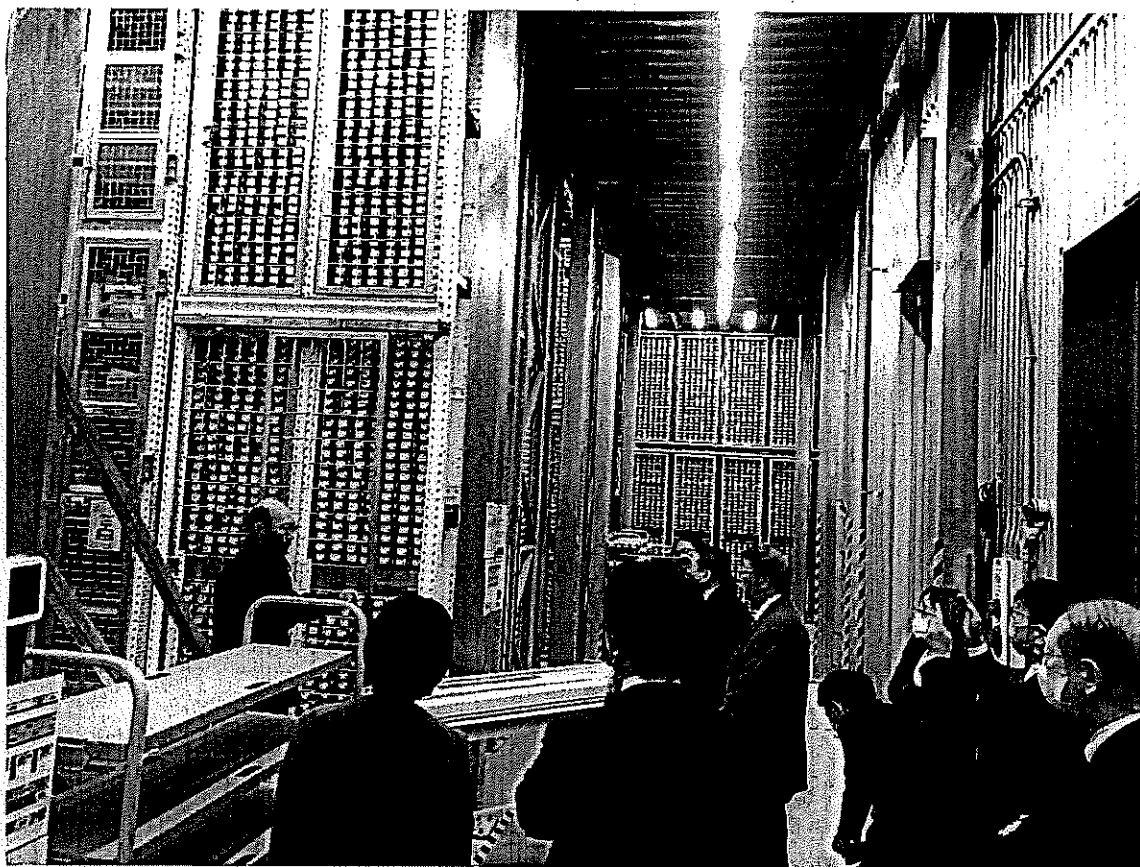
【廣瀬氏による講義】

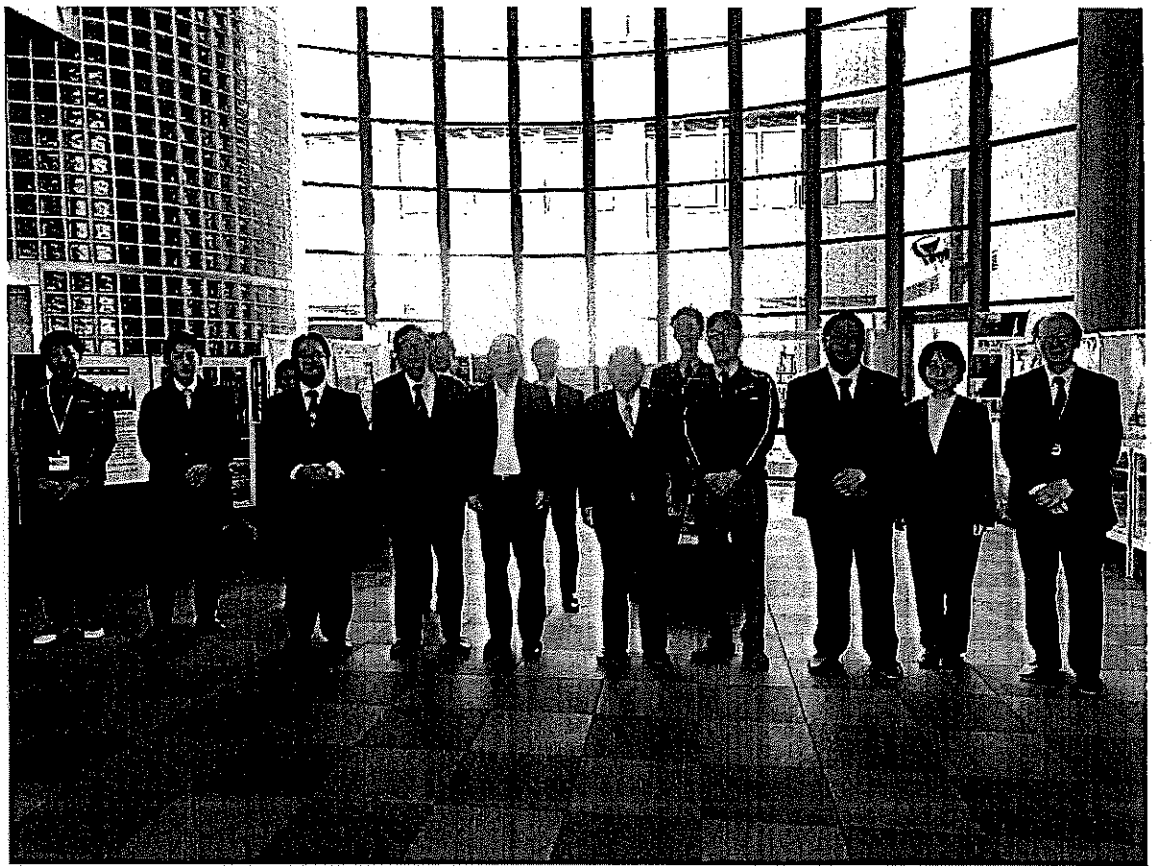


【濱田氏による講義】



【コア保管庫視察】





2 視察所感

本視察において最も印象的だったのは、「コアは地球の営みの痕跡である」という廣瀬氏の言葉であった。コア試料からは、「気候変動の痕跡」「深海の酸素・無酸素状態」「火山活動の規模や時代」「地震断層」「大陸移動」「プランクトンの種類と量」「メタンハイドレートの生成」「海底下生物図」「種の絶滅」等、非常に多岐にわたる情報を得ることができる。これらを総括すると、まさにコアは「地球の営みの痕跡」であると言える。

現在、八戸市では、エネルギー、環境、地震や津波の災害対策等、様々な問題について取り組んでいる。これらの取組を進めるにあたり、コア研究のデータは、その根拠を示すものとして非常に重要である。KCCの働きは、研究の側面から我々の生活や安全に寄与されている。大変頭の下がる思いである。

我々議員の役割は、研究員の方々がその能力をいかんなく発揮できるよう、諸々の環境を整備することで、その研究結果を市民生活の向上へとつなげることである。今後も議員連盟を通じ、安定・継続した後方支援の実施を決意したことをもって、本視察の所感としたい。

1 日時	令和7年1月30日(木)
2 場所	高知市議会
3 対応者	高知市議会副議長 戸田二郎氏、議会事務局議事調査課長 中須賀広典氏 議会事務局次長 山岡和加氏
4 概要説明	議長と事務局長が全国市議会議長会会議のため上京中とのことで、副議長と事務局次長の対応となった。最初に高知市の概要（令和6年度）全般について説明を受けた。 〈議会改革について〉 平成7年5月に地方分権推進法制定され、中央集権型行政システムから地方分権型行政システムへの移行が進み、地方自治体は自らの判断と責任により、地域の実情に沿った政策を展開していくことが必要となった。また、地方自治体の権限が拡大されるなか、執行機関の監視、牽制機能を持つ地方議会の果たす役割はますます大きくなってきている。高知市議会では、昭和62年10月1日から高知市行政情報公開条例を施行、議会が情報公開の実施機関になったのを始めとし、各種の議会改革を行っており、特に最近の3つの条例について説明を受けた。 その1 高知市議会情報公開条例及び高知市議会個人情報保護条例について 令和5年4月に全部改正した。 主な特色：・公開の対象となる議会情報とは、議会事務局の職員が職務上作成し、組織的

に用いるものにして議長が保有しているもの
・議会委員会記録、議会の公務に係る調査活動に関する報告書、その他議長が別に規則で定めるものについて議会図書室等で公表するものなど5件
その2 高知市議会政務調査活動費の交付に関する条例について
主な特色：・交付の対象は会派とする
・規則の中に全ての支出に対する領収証書の原本添付を明記など6件
その3 高知市議会議員の政治倫理に関する条例について
主な特色：・議員に条例を遵守する旨の宣誓書の提出を義務付け、実効性を担保した
・刑罰法令に抵触しないが、議員としての資質、適格性を市民から疑われる行為を政治倫理基準違反と定めるなど5件
まとめ： 全体として高知市議会は、議会改革が進んでいると感じた。特に政治倫理に関する条例について「政治倫理基準違反が公然となった場合は、対象議員自ら事実釈明することを義務付け、釈明等が行われない場合は一定の要件の下、選挙権を有する市民に政治倫理基準違反に関する説明会の開催請求権を認める」等市民本位になっていると感じた。

〈地域公共交通の課題について〉
1 住民、公共交通事業者、行政の連携による公共交通の維持
2 交通弱者や公共交通空白地域を考慮した効果的な公共交通体系の構築
3 まちづくりと公共交通体系の一体的な展開
4 観光振興に資する公共交通ネットワークの構築
5 情報提供（プロモーション）活動の強化
以上の説明を受けた。
〈施策を進めるにあたっての具体的事業について〉
【基本方針】
誰もが安心して心豊かに過ごすことのできるまちを支える持続可能な公共交通
基本目標 1 地域ニーズに即した利便性の高い公共交通
基本目標 2 まちづくりと連携し、人の交流を促す公共交通
基本目標 3 多様な主体が協働することによる持続可能な公共交通
以上の説明を受けた。
まとめ
南国市にあっても公共交通は重要で、生活に欠くことのできない社会インフラとして
最大限確保・維持すべく努力していることを強く感じた。財政的には赤字であり、運転手
も不足しており、特に中山間地域において民間の路線バス廃止にともなって、市が乗り
合いバスとタクシーの運行を行っている。北部山間地域では100%を補完、ドア to

ドアで運行しているとの話で、市も大変苦勞と努力をしていることがうかがえた。

八戸市においても公共交通を持続可能な公共交通事業として展開させていくために、南
国市の取り組みを活かしたいと思う。